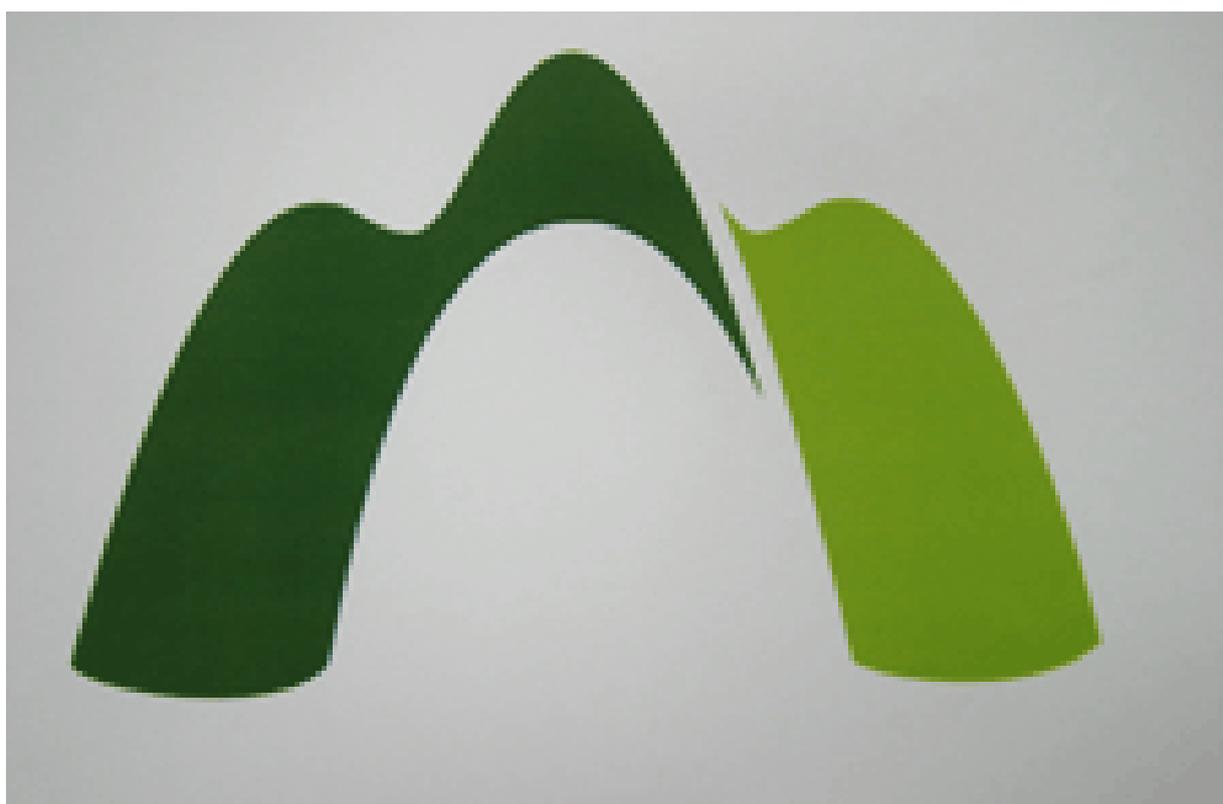


2006

消防年報



(亀山市の市章)

亀山市消防本部

「豊かな自然・悠久の歴史 光ときめく亀山」



平成17年1月11日に亀山市と関町が合併し、新「亀山市」が誕生。

新市の市章には、全国各地から1,863点の作品応募があり、選考の結果、上の作品が新「亀山市」の市章に決定しました。

これは、亀山市の特徴である豊かな自然や歴史文化を守り、さらに高めていく姿を大きな山並みとして表し、曲面(ウエーブ)はときめく亀山市の限りない発展を表しています。

目 次

フォルダ ファイル ワークシート

00-はじめに

-  [01-はじめに](#)
-  [02-亀山市の位置及び地勢](#)
-  [03-亀山市消防の歌](#)
-  [04-亀山市の沿革](#)
-  [05-亀山消防のあゆみ](#)
-  [06-平成18年度中における主な行事等](#)
-  [07-亀山市勢](#)
-  [08-予算の比較](#)

01-消防情勢

-  [01-消防本部組織・事務分掌](#)
-  [02-消防署組織・事務分掌](#)
-  [03-職員配置表](#)
-  [04-消防職員勤続年数表](#)
-  [05-消防職員数の累年比較表](#)
-  [06-消防職員年令表](#)

02-消防施設

-  [01-消防庁舎の概要](#)
-  [02-亀山市消防配置図](#)
-  [03-消防本部\(署\)車両一覧表](#)
-  [04-通信施設一覧表](#)
-  [05-消防通信系統](#)
-  [06-消防通信系統図](#)
-  [07-主な資器材の種類及び数量表](#)
-  [08-亀山市消防水利一覧表](#)
-  [09-主要事業\(施設・備品整備\)一覧表](#)

03-予防関係

 [予防関係](#)

防火対象物一覧表
防火対象物建築同意件数表
消防用設備等着工・設置届処理状況表
各種届出処理状況表
幼少年婦人防火委員会加入団体一覧表

04-危険物関係

 [危険物関係](#)

危険物製造所等の施設推移状況表・地区別施設状況表
危険物製造所等の許可・完成検査状況表
危険物製造所等各種申請・届出処理状況表

05-火災

 [00-10年間の火災件数、火災種別グラフ](#)

 [01-火災](#)

10年間の火災件数・損害額等比較表
出火原因及び月別件数状況表
月別火災状況表
出火時間帯別火災状況表
地区別火災状況表

06-救急

 [00-救急概要・グラフ](#)

救急概要
グラフ

 [01-救急](#)

年別救急出動状況表
亀山消防署月別救急出動件数表
関消防署月別救急出動件数表
時間帯別救急出動件数表
応急処置別件数表
道路別交通事故救急出動件数・覚知別救急出動件数表
地区別救急出動件数・住所別搬送人員表
年令別搬送人員表

07-救助・その他の出動状況表

 [救助・その他の出動状況表](#)

月別救助出動状況表
月別その他の出動状況表

08-救急医療情報

 [救急医療情報](#)

月別救急医療情報案内件数表
曜日・時間・地域別医療情報案内件数表

09-気象

 [気象](#)

月別気温調・月別湿度調
月別雨量調・月別風速調
月別風向調・年間風向

10-消防団

 [01-消防団](#)

消防団組織
消防団員配置表
消防団員年令表
消防団員勤続年数表

 [02-消防団機械器具一覧表](#)

機械器具一覧表(1)
機械器具一覧表(2)
機械器具一覧表(3)
機械器具一覧表(4)

はじめに

この年報は、亀山市の消防現勢並びに平成18年中における火災、救急・救助等の統計データを収録し、消防行政の現状を広く紹介するために編さんしたものです。

なお、予算関係資料については、当初予算の金額を記載しております。

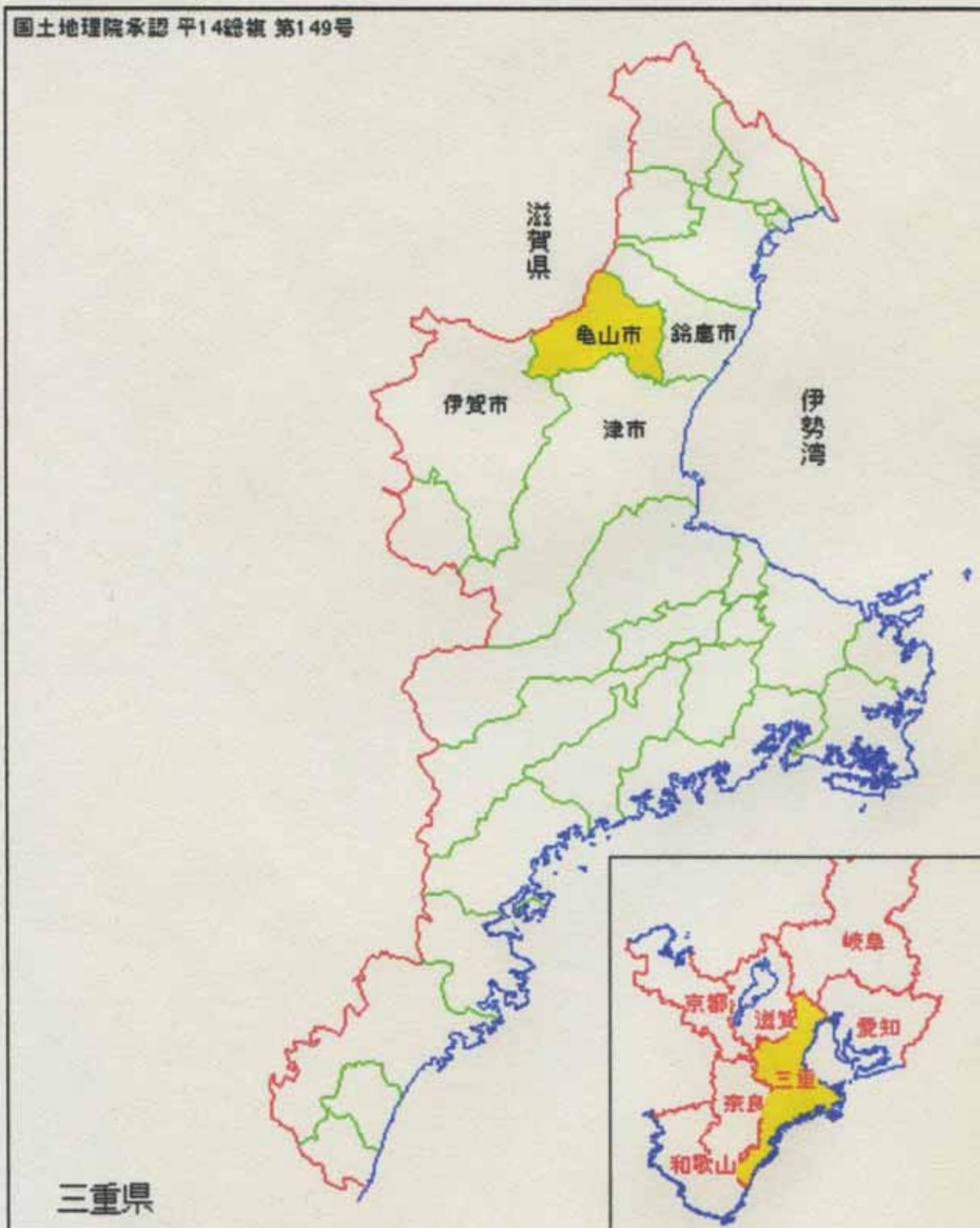
平成19年4月

亀山市消防本部

亀山市の位置及び地勢

亀山市は三重県北中部に位置し、1県、3市に隣接し、南に鈴鹿川、北に安楽川が流れ、西には鈴鹿山脈が連なり、内陸型の地方都市である。

国土地理院承認 平14総根 第149号



本地図の作成に当たっては、フリーソフト「白地図KenMap」の地図画像を利用・編集しました。

亀山市消防の歌

作詞 滝田常晴
作曲 青木玲二

大らかに力強く

すずか やまなみ くも あーお く
あゆみゆ か し い ふるさーと の
ぶんかを まもる この しめい いざことあらば さきがけて お
お か め や ま し しょうぼう われ ら

亀山市消防の歌

作詞 滝田常晴
作曲 青木玲二

一、鈴鹿やまなみ 雲青く

歴史ゆかしい ふるさとの
文化を守る この使命
いざことあらば さきがけて
おお亀山市消防 われら

二、火にも水にも たゆみなく

つねに備えて はらからの
生命を守る この力
団結固く こぞりたつ
おお亀山市消防 われら

三、進む時代に たくましく

究める道は 遠くとも
みがき鍛えて さえる技術
誇りも高く 光り呼ぶ
おお亀山市消防 われら

亀山市の沿革

亀山市の歴史は古く、古代、鈴鹿の関は、越前の愛発、美濃の不破とともに日本三関と呼ばれ、都と東国を結ぶ交通の要衝として栄えてきました。

江戸時代に入ると、亀山宿、関宿、坂下宿は東海道の宿場町としてにぎわいました。中でも関宿は、西の追分で鈴鹿峠越えの東海道と加太越えの大和・伊賀街道が、東の追分で東海道と伊勢別街道が、それぞれ分岐していたため、参勤交代や伊勢参りなど、多くの人やものが行き交いました。また、亀山宿では、亀山城を中心としたまちが形成されたことから、城下町特有のまちとなり、現在の中心市街地の基礎となっています。

明治4年に廃藩置県の令が発せられた後、明治22年の新市町村制の実施に伴い戸数1,300戸、人口7,000人の亀山町が誕生、明治41年には更に1ヵ村を合併し人口も10,000人を数え、昭和29年(1954年)まで、この地域は亀山町、昼生村、井田川村、川崎村、野登村、白川村、神辺村、関町、加太村、坂下村の2町8村から構成されていました。

昭和29年10月に亀山町と昼生村、井田川村、川崎村、野登村が合併し、亀山市が新設され、その後、一部が鈴鹿市へ編入し、新たに白川村、神辺村の一部や芸濃町楠平尾を編入し、亀山市の区域となりました。

関町については、昭和30年2月に関町に白川村、神辺村の一部を編入し、昭和30年4月に関町と加太村、坂下村が合併して関町が新設され、その後、一部が伊賀町へ編入し、新たに芸濃町萩原、福德を編入して関町の区域となりました。

平成17年1月11日には亀山市と関町が合併し、新「亀山市」が誕生しました。平成の大合併としては、県内で6番目の合併となり、人口は48,670人、面積が190.91km²で、いずれも県内市町村中10番目の規模となり現在の市の行政区域となりました。

亀山市誕生当時の昭和30年代はまさに日本経済の成長期であり、亀山市の成長期でもありました。戦後処理のまださめやらぬ中で、保育所の建設、失業者対策、衛生施設の整備、道路交通網の整備、教育施設の整備等、文化的な生活を営む上で基本的に必要な生活基盤の整備を推進しました。

昭和40年代の日本経済の高度成長期には、能褒野工業団地に代表される企業誘致や住宅団地の造成等によって、産業構造や市民生活に大きな変化が現れ、また昭和46年の台風23・29号や昭和49年の集中豪雨等の大災害に遭遇しましたが、これらに対応すべく産業基盤の整備、上水道の敷設、福祉施設の充実等、産業の近代化と社会福祉の推進を図ってきました。

昭和50年代に入って、日本経済の発展は鈍化し、高度成長期から低度成長期へと移行していきましたが、このような情勢の中でもスポーツ施設の建設、関西本線の電化推進、街路の整備、文化施設の建設及び生活環境施設等の整備充実に取り組み、概ね都市基盤も整えられました。

現在は、本市の将来都市像である。“豊かな自然・悠久の歴史 光ときめく都市”を実現するため、「地域住民の自主性を尊重する市民参画型の都市づくり」を基本理念とし、まちづくりを進めています。

また、新たな国土交通軸(新名神・リニア)を活かした三重の玄関づくりにふさわしい都市基盤づくりや、総合環境センターを拠点として循環型社会に向けた「エコシティ亀山」の実現に取り組んでいます。

更に、保健福祉の多様化するニーズにこたえるため、総合保健福祉センターを拠点に生きがい対策や世代間交流などを推進しています。

一方、新たな産業振興を図るため企業を誘致し、次代のリーディング産業として雇用の創出やさまざまな分野への波及効果が期待されています。

亀山消防のあゆみ

- 昭和24年 2月 消防組織法(昭和23年法律第226号)に基づき亀山町消防本部を設置
消防職員4名(役場兼務職員を含む)、消防ポンプ自動車1台をもって自治体消防を発足する
- 昭和26年 2月 消防本部に水槽付消防ポンプ自動車1台配置
- 昭和27年 3月 日本消防協会から表彰旗を授与
- 昭和29年 3月 消防庁長官から竿頭綬を授与
- 10月 鈴鹿郡亀山町、川崎村、野登村、井田川村、及び昼生村の5ヶ町村が合併して市制を施行し「亀山市」を発足
市制施行により、亀山町消防本部を亀山市消防本部に名称替えを、また消防団は5団制をとる
- | | | | | | |
|---------|-----|------|------|-------------|----|
| 消防本部 | 1 | 消防職員 | 3名 | 水槽付消防ポンプ自動車 | 1台 |
| 消防団 | 5 | 消防団員 | 295名 | 消防ポンプ自動車 | 3台 |
| 手引動力ポンプ | 11台 | | | | |
- 昭和30年 2月 鈴鹿郡神辺村布気、太岡寺、山下、木下及び小野の一部並びに白川村白木、小川の区域を編入合併、旧神辺村、白川村消防団に加え7団制、団員366名となる
- 5月 各地区の旧消防関係条例を廃止し、亀山市消防に関する条例施行により消防団を総合再編成する
- | | | | | |
|----------|---|------|------|------|
| 消防団 | 1団 | 6ヶ分団 | 消防団員 | 366名 |
| 消防団の管轄区域 | 第1分団 (旧亀山町、井田川村)
第2分団 (旧神辺村)
第3分団 (旧昼生村)
第4分団 (旧川崎村)
第5分団 (旧野登村)
第6分団 (旧白川村) | | | |
- 6月 消防本部に消防ポンプ自動車1台配置
- 昭和31年 6月 第4分団(太田)、第5分団(池山)、第6分団(小川)に小型動力ポンプ各1台配置
消防本部に中短波陸上無線電話(基地局1、移動局2)設置
- 昭和32年 5月 職員1名増員
- 9月 第2分団(山下)、第3分団(中庄)に小型動力ポンプ各1台配置
- 昭和33年 8月 職員2名増員
- 10月 消防本部に消防ポンプ自動車1台配置
- 昭和34年 4月 新消防庁舎を本丸町577に建設する
昭和34年4月10日着工 昭和34年6月23日竣工
木造亜鉛鉄瓦棒葺平屋建 建築面積 208.17㎡
- 8月 職員1名増員
- 12月 消防本部に中短波陸上無線電話の移動局(1)を増設
昭和34年9月、台風15号(伊勢湾台風)による風水害の災害救助、復旧に尽力し、消防団が国土大臣(中部日本災害対策本部長)から12月9日感謝状を授与
- 昭和35年 11月 第2分団(小野)、第5分団(坂本)に小型動力ポンプ各1台配置
- 12月 消防本部に中短波陸上無線電話の移動局(1)を増設
- 昭和36年 5月 第5分団(平尾)に運搬車1台配置
- 6月 職員2名増員
- 9月 第4分団(能褒野)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ各1台配置
- 昭和37年 4月 消防本部に事務連絡用単車1台配置
- 5月 第4分団(南条)に運搬車1台配置、職員1名増員
- 10月 第3分団(三寺)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ1台配置
- 11月 職員4名増員
- 昭和38年 10月 職員1名増員
- 昭和39年 1月 消防本部に運搬車1台配置
- 3月 消防本部に小型動力ポンプ1台配置し運搬車に積載する
- 7月 職員1名増員
- 11月 消防本部に水槽付消防ポンプ自動車1台配置し消防ポンプ自動車1台を第1分団へ配置替えする

昭和40年	4月	消防団条例の一部改正により消防団員を317名に削減、職員2名、女子事務員1名増員
	8月	職員1名増員
	10月	第5分団(安楽)に小型動力ポンプ1台配置
昭和41年	4月	職員8名増員
	8月	第2分団(太岡寺)、第6分団(白木)に運搬車各1台配置、また第4分団(田村)に小型動力ポンプ1台配置
昭和42年	3月	現消防庁舎跡に鉄筋コンクリート造の新庁舎を建設 昭和42年4月1日着工 昭和42年10月30日竣工
	4月	消防署を設置、名称を亀山市消防署とし、消防本部・署職員31名、水槽付消防ポンプ自動車2台、消防ポンプ自動車1台、職員4名増員
	8月	第3分団(中庄)に運搬車1台配置
	10月	亀山ライオンズクラブから気象観測計器(自記風向、風速計)の寄贈を受け、また自記雨量計、通風乾湿計等気象観測施設を設置
昭和43年	3月	昭和42年3月6日に発生した国道1号鈴鹿トンネル内の車両火災に際し、その消防活動の功績に対し消防本部、消防団が三重県知事から表彰を受ける
		第4分団(南条)に小型動力ポンプ1台配置
	5月	第5分団(平尾)の運搬車更新
昭和44年	9月	消防団条例の一部改正により消防団員を280名に削減 職員1名退職
	4月	日本損害保険協会から「火災保険号」の寄贈を受け消防署に配置
	8月	消防署に救急自動車1台配置
	9月	政令指定により救急業務開始
	10月	第2分団(木下)、第5分団(辺法寺)、第6分団(白木)に小型動力ポンプ各1台配置 中短波陸上無線電話(基地局1、移動局4)を超短波無線電話に全て切り替えるとともに移動局(2)を増設する 職員1名増員 伊藤栄二郎団長死亡退職により一見忠夫氏が団長に就任
昭和45年	4月	職員3名増員
	6月	第4分団(徳原)に小型動力ポンプ1台配置
	7月	消防署に運搬車1台配置
昭和46年	3月	宮西昌雄氏から寄付金を受け「空気呼吸器3基」「超短波無線電話1基」を購入し消防署に配置
	9月	消防署に携帯超短波無線電話1基配置
昭和47年	12月	第2分団(中村)、第5分団(原尾)小型動力ポンプ各1台配置
	2月	職員1名退職
	3月	消防署に消防ポンプ自動車1台を配置し、消防署の消防ポンプ自動車1台を第1分団(本町)に配置替 三重県消防大会(3月29日)において三重県知事から優良消防団として竿頭綬を授与
	4月	消防署に携帯用超短波無線電話2基配置 職員3名増員
昭和48年	6月	第1分団(本町)、第4分団(南条)の運搬車更新
	8月	第1分団(本町)に小型動力ポンプ1台配置、運搬車に積載
	2月	消防署に 型化学消防自動車1台配置
	3月	成田正次、中島 高、両氏から寄付金を受け「携帯用酸素切断機1台」、「背負式消火水のう8基」を購入し消防署に配置
	4月	職員1名欠員補充
昭和49年	6月	消防署に広報車(1600cc)1台配置
	9月	第3分団(三寺)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ各1台配置
	3月	第1分団(川合)、第6分団(小川)分団車庫新築
	4月	職員2名欠員補充
	7月	第4分団(太田)分団車庫新築 消防本部組織を一部改正し、新しく危険物係を設置
昭和50年	8月	第4分団(太田)、第5分団(池山)の小型動力ポンプ更新
	11月	三重県知事から7月未明の集中豪雨の功労に対し表彰状を授与
	4月	職員4名欠員補充
	5月	石井彦一郎氏から、単車(125cc)の寄贈を受け消防署に配置
	10月	三重県共済農業組合連合会から救急車(2B型)の寄贈を受け消防署に配置

昭和51年	2月	第2分団(山下)、第3分団(中庄)の小型動力ポンプ更新
	3月	第3分団(下庄)、第4分団(田村)分団車庫新築
	3月	第5分団(平尾)分団車庫新築、移転
		職員1名退職
	4月	職員4名欠員補充
昭和52年	10月	第2分団(小野)、第6分団(小川)の小型動力ポンプ更新
	1月	第5分団(辺法寺)分団車庫新築
	4月	職員4名欠員補充
		職員1名退職
	8月	第4分団(能褒野)、第5分団(坂本)の小型動力ポンプ更新
	9月	消防署に車載用超短波無線機2台配置
	10月	第6分団(上白木)分団車庫新築
	12月	第5分団(原尾)分団車庫増築
昭和53年	4月	初代専任消防長に三宅長治氏が就任
		職員4名欠員補充
	7月	消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に庶務係、予防係、危険物係、防災係、企画係の5係を、消防署に消防第一・第二係、救急通信第一・第二係の4係を設置
	9月	関町と亀山市との間における消防事務の事務委託に関する規約を議決
		小型動力ポンプ付積載車を消防団本部(本町)、第1分団(井田川)、第5分団(平尾)に配置
		小型動力ポンプ台車付1台を第3分団(下庄)に配置(更新)
	10月	自動遠隔サイレン吹鳴装置、基地局1基、子局3基(太岡寺町、白木町、川崎町)設置
昭和54年	11月	日本損害保険協会から「火災保険号」の寄贈を受け消防署に配置
	2月	事務委託に関する規約に基づき、協定書及び覚書の調印を行った
		消防署にトヨタ2B型救急車配置及び移動用10W無線機を積載
	3月	関町と亀山市との広域消防施行式を商工会館にて挙行
		第4分団(南条)に分団車庫新築
	4月	関町と亀山市との間における消防事務の事務委託業務を開始
		広域消防整備計画に基づき消防職員11名を増員
	9月	自動遠隔サイレン吹鳴装置、子局4基(井田川、昼生、平尾、池山)設置
		関分署庁舎竣工式
	10月	亀山市消防署関分署開署式挙行、分署長以下15名職員を配置し、分署業務を開始する
		消防事務委託に関する規約及び協定書に基づき、分署の施設・備品の整備について覚書を交換し、その体制を整える
		小型動力ポンプ付積載車1台を第6分団(白木)に配置、小型動力ポンプ付積載車1台を第3分団(中庄)に配置(更新)
昭和55年	4月	職員1名退職
	5月	消防本部に広報車(1400cc)1台配置
	7月	消防署に携帯用超短波無線電話5W4基配置
	8月	災害情報等自動案内装置(機種ゼネラル)1台消防署に配置
	10月	山林火災用軽四輪積載車(550cc)1台消防署に配置
		小型動力ポンプ付積載車(B3級)2台、第2分団(太岡寺)、第4分団(南条)に配置(更新)
		職員1名欠員補充
昭和56年	3月	第2分団(神辺)分団車庫新築
	4月	一見忠夫氏団長退団のため、村山 守氏が団長に就任
		亀山・関地域ガス安全対策連絡協議会発足
	5月	消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に庶務係、警防係、予防係、危険物係4係を、消防署に新たに装備係を設置
昭和57年	1月	亀山市消防の歌制定
	8月	団本部に小型動力ポンプ付積載車(B3級)1台配置
		第5分団(安楽)に小型動力ポンプ(B3級)1台配置
	11月	関分署に水槽付消防ポンプ車(I-B型 A2級)1台配置
昭和58年	1月	消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に総務係、予防係、消防署に警防係、査察係、訓練指導係、装備係、関分署に警防係を設置

		職員1名退職
	3月	第6分団(白川、松山)分団車庫新築
	11月	消防署に水槽付消防ポンプ自動車(I - B型 A 2級)1台配置
	12月	消防署に救急医療情報システム設置
昭和59年	2月	職員1名退職
	3月	初代専任消防長 三宅長治氏退職 消防署に通信指令係を設置
	4月	二代専任消防長に下條 繁氏が就任 第5分団(池山)分団車庫新築
昭和60年	12月	幼年消防クラブ(4クラブ)設立
	2月	第1分団(本町)分団詰所改築工事
	3月	第36回三重県消防大会 亀山市文化会館にて開催 職員2名退職
	4月	移動用無線機5W 2基購入 職員2名欠員補充
		消防本部組織の一部改正により、消防署に整備指導係を設置 消防団再編成計画により、消防団員定員280名を262名に再編成
	8月	亀山関幼年婦人防火委員会設立
	9月	第4分団(田村)の小型動力ポンプ(B 3級)更新
	10月	亀山ライオンズクラブから救急車(2 B型)の寄贈を受け消防署に設置
	12月	平尾婦人防火クラブ(1クラブ)設立
昭和61年	4月	消防団再編成計画により、消防団員定員262名を251名に再編成
	5月	消防本部の広報車(1600cc)更新
	6月	職員1名退職
	10月	第1分団(羽若)分団車庫新築(増) 第1分団(羽若)に小型動力ポンプ付積載車(B 3級) 1台配置
	11月	昼生地区コミュニティ消防センター新築 消防署に消防専用超短波無線機固定用10W1台配置
昭和62年	2月	第3分団(中庄)、第5分団(平尾)、第6分団(白木)に林野火災用軽可搬式ポンプ(D 1級)各1台配置
	3月	自治省消防庁から消防庁長官表彰旗を授与 カメヤマローソク(株)から消防資金として100万円寄贈(空気呼吸器資金)
	4月	職員1名欠員補充 消防団再編成計画により、消防団員定員251名を243名に再編成
	7月	消防署関分署に広報車(1600cc)1台配置
	11月	第2分団(木下)に小型動力ポンプ(B 3級)1台配置
	12月	空気呼吸器150kgf/cm ² 10基購入
昭和63年	3月	本町地区防災センター新築 第1分団(天神)分団車庫新築(積載車1台配置)
	4月	消防団再編成計画により、消防団員定員243名を240名に再編成(再編成計画終決)
	7月	三重県消防団長会議 亀山市文化会館にて開催 野登地区(辺法寺、原尾、安楽、池山、坂本)婦人防火クラブ(5クラブ)設立
	10月	山林火災用軽四輪積載車(550cc)1台消防署に配置(更新) 第5分団(辺法寺)の小型動力ポンプ(B 3級)更新
	11月	第2分団(布気)分団車庫新築(増)
	12月	第2分団(布気)に小型動力ポンプ付積載車(B 3級)1台配置 携帯用無線機(5W)5基購入
平成元年	5月	関地区(市瀬)婦人防火クラブ(1クラブ)設立
	8月	(財)日本消防協会から、平尾婦人防火クラブに軽可搬(D 1級)1台寄贈
	10月	(財)日本消防協会から、亀山市消防本部に防災用資器材(携帯用無線機10基、携帯拡声器2台)寄贈
	11月	第6分団(上白木)の小型動力ポンプ(B 3級)更新 防災行政用無線機を消防団積載車搭載 10基
	12月	消防署の消防ポンプ自動車(CD - I型、A 2級)更新 亀山3号を第1分団本町車庫に配置替え

平成 2年	2月	(財)日本消防協会から、亀山市消防団に竿頭綬を授与
	3月	第2分団(山下、木下)分団車庫新築移転
	7月	職員1名退職
	8月	(財)日本消防協会から救急自動車(2 B型)寄贈 団本部に小型動力ポンプ付積載車(B 3級)更新
	9月	第4分団(徳原)、第5分団(原尾)の小型動力ポンプ(B 3級)更新
平成 3年	10月	第6分団(松山)に山林火災用軽四輪積載車1台配置(増)
	12月	消防署関分署の救急車(2 B型)更新
	1月	第3分団(三寺)分団車庫新築移転
	2月	消防署の化学消防ポンプ自動車(型・A 2級)更新 空気呼吸器300kgf/cm ² 5基購入
	3月	二代消防長 下條 繁氏退職
	4月	三代消防長に田名瀬治好氏就任 村山 守氏団長退団のため鈴木吉男氏が団長就任 職員2名欠員補充
	5月	消防本部の指令広報車(1800cc)更新
	9月	第1分団(井田川)の小型動力ポンプ付積載車(B 3級)更新
	10月	第6分団(松山)の小型動力ポンプ(B 3級)更新 消防署の軽可搬小型動力ポンプ(C 1級)更新
	11月	第5分団(池山)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
平成 4年	1月	(社)日本自動車工業会から救急自動車(2 B型)寄贈
	2月	消防署の救急自動車(2 B型)更新 第5分団(坂本)分団車庫新築移転
	4月	職員1名欠員補充
	7月	消防本部の指揮車(2000cc)更新
	8月	第1分団(天神)、第5分団(平尾)の小型動力ポンプ付積載車(B 3級)更新
平成 5年	10月	第3分団(下庄)の山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増) 第3分団(三寺)の小型動力ポンプ(B 3級)更新
	12月	消防署の消防ポンプ自動車(C D-I型、A 2級)更新
	1月	第2分団(小野)分団車庫新築移転 関分署管内119番の本署統合、通信の一元化
	3月	亀山6号を第1分団本町車庫配置替え(更新)
	9月	第3分団(中庄)、第6分団(白木)の小型動力ポンプ付積載車(B 3級)更新
平成 6年	1月	第5分団(池山)の小型動力ポンプ(B 3級)更新
	3月	防災ヘリ用消防無線機(基地局・固定局)1基増設 消防無線設備周波数変更(153.55MHzを151.31MHz) 消防署救急自動車(2 B型)を高規格救急車に更新 救急用資器材(E O G滅菌器、気管挿入モデル、SpO ₂ 測定器等 10点)配備
		第4分団(徳原)、第5分団(安楽)分団車庫新築移転
		第4分団(田村)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増) 第5分団(池山)の小型動力ポンプ(B 3級)更新
	4月	職員2名増員
	6月	高規格救急車 車両艤装(自動車F A X、バックアイカメラ・モニター外5点) 白川地区(小川町)小川婦人防火クラブ(1クラブ)設立
	7月	消防本部、消防署機構改革 本部の消防課に企画整備係と危険物係を、消防署に 救急通信担当司令、警防担当司令と救急係を新設 救急用資器材配備(自動式人工呼吸器、自動心肺蘇生装置、在宅医療処置用セット 外5点) 職員1名退職
	10月	消防庁舎移転用地無線伝播調査
	11月	救急救命士資格取得1名 消防庁舎移転用地買収(野村四丁目1279-2)
	12月	第2分団(布気)消防詰所増築
平成 7年	1月	阪神、淡路大震災発生に伴う応援要請に基づく出動 ポンプ車隊
	3月	三代消防長田名瀬治好氏退職 消防庁舎移転用地地質調査

- 亀山市消防庁舎設計監理委託(梓設計)
 第2分団(太岡寺)、第4分団(南条)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
 4月 四代消防長に羽多野勇喜男氏就任
 消防本部の機構改革 予防課を新設
 職員2名増員
 6月 消防本部の防火広報車(亀山4)更新
 9月 宮西祥雄氏から耐ガス密封防護服2着、複合ガス検知器1基、防毒衣3着の寄贈を受け消防署に配備
 平成 8年 12月 消防庁舎新築移転工事着工
 1月 第4分団(太田)の小型動力ポンプ(B3級)更新
 2月 第3分団(三寺)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配備(増)
 3月 第6分団(小川)分団車庫改築
 4月 職員2名増員
 亀山地区 楠平尾婦人防火クラブ(1クラブ)設立
 5月 救急救命士資格取得1名
 8月 関地区「関町スポーツ少年団」少年消防クラブ(1クラブ)設立
 平成 9年 12月 関分署の消防ポンプ自動車(CD-1)関1 更新
 2月 第2分団(山下)の小型動力ポンプ(B3級)更新
 第6分団(小川)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配備(増)及び小型動力ポンプ(B3級)更新
 高度救急処置シュミレーター(救急処置用人形一式、心肺蘇生用訓練人形一式)を配備
 亀山市野村四丁目1番23号に新消防庁舎建築工事完了
 庁舎棟
 鉄筋コンクリート造3階建
 建築面積 1,536.16㎡
 延べ面積 2,479.71㎡
 訓練塔(主塔)
 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建
 建築面積 30.25㎡
 延べ面積 90.75㎡
 訓練塔(副塔)
 鉄骨造3階建
 建築面積 29.03㎡
 延べ面積 49.52㎡
 3月 消防緊急通信指令施設(型)設置工事完了
 防災展示コーナー(消防プラザ)設置工事完了
 第4分団(能褒野)分団車庫改築
 第5分団(池山)にホース干し鉄塔建設
 職員3名退職
 4月 亀山市消防本部、亀山消防署、新庁舎竣工運用開始
 亀山市消防本部、亀山消防署機構改革に伴い消防本部に通信指令室を新設
 関分署を関消防署に昇格、1本部2署体制とする
 職員3名欠員補充
 5月 救急救命士資格取得1名
 6月 消防本部に事務連絡用軽四輪車1台配備(増)
 8月 消防無線機(移動局10W2台、携帯局5W8台)更新
 11月 鈴木吉男氏団長退団のため葛西行弘氏が団長に就任
 消防緊急通信指令施設指令伝送出力装置設置工事完了(市役所内2箇所に設置)
 平成 10年 12月 第5分団(辺法寺)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配備(増)
 第2分団(小野)、第4分団(能褒野)、第5分団(坂本)の小型動力ポンプ(B3級)更新
 3月 亀山消防署に救助工作者型1台配備(増)
 第49回三重県消防大会 亀山市文化会館にて開催
 職員1名退職
 4月 職員1名欠員補充 1名増員
 5月 第49回全国消防長会救急委員会 亀山市消防庁舎、亀山市文化会館にて開催
 10月 移動体電話119番通報運用開始

- 平成11年 12月 第2分団(木下)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
第3分団(下庄)の小型動力ポンプ(B3級)更新
- 平成11年 3月 四代消防長羽多野勇喜男氏退職
職員1名退職
第5分団(辺法寺)ホース干し鉄塔建設
- 平成11年 4月 五代消防長に三宅昭之氏就任
亀山市消防団規則の一部改正に伴い6分団制から7分団制に組織改革
第1分団(亀山)
第2分団(神辺)
第3分団(昼生)
第4分団(川崎)
第5分団(野登)
第6分団(白川)
第7分団(井田川)
組織改革に伴い第1分団(井田川消防車庫)を第7分団(川合消防車庫)に変更
職員1名欠員補充
- 平成11年 5月 救急救命士資格取得1名
9月 第7分団(みどり町)分団車庫及びホース干し鉄塔新築
- 平成12年 12月 消防団本部の小型動力ポンプ付積載車(亀山1)更新
第7分団(みどり町)に小型動力ポンプ付積載車1台配置(増)
第5分団(安楽)の小型動力ポンプ(B3級)更新
- 平成12年 2月 亀山消防署の山林火災用軽四輪積載車(亀山5)更新
3月 職員1名退職
4月 職員1名欠員補充
5月 救急救命士資格取得1名
- 平成13年 11月 職員1名退職
1月 第1分団(本町)の小型動力ポンプ付積載車1台更新
2月 亀山消防署の水槽付消防ポンプ自動車(亀山7)1台更新
3月 職員1名退職
4月 職員2名欠員補充
5月 救急救命士資格取得1名
消防本部の指令広報車(亀山52)更新
- 平成13年 11月 関消防署 救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新
12月 職員1名退職
第1分団(羽若)の小型動力ポンプ付積載車1台更新
- 平成14年 3月 五代消防長三宅昭之氏退職
職員1名退職
4月 六代消防長に米田功氏就任
職員2名欠員補充
平成14年度全国消防長会東海支部総会 亀山市文化会館にて開催
- 平成15年 5月 救急救命士資格取得1名
12月 亀山消防署 救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新
3月 関消防署新庁舎竣工運用開始
構造 木造2階建一部鉄筋コンクリート造
敷地面積 2,256.00㎡
建築面積 685.43㎡
延べ面積 781.03㎡
職員1名退職
- 平成15年 4月 消防職員の条例定員67名を71名に改正
職員3名増員 1名欠員補充
消防団員再編成計画により、消防団員定員240名を270名に再編成
- 平成15年 5月 救急救命士資格取得1名
緊急援助隊登録(消火隊)
- 平成15年 8月 桑名郡多度町三重ごみ固形燃料(RDF)発電所火災に県内緊急援助隊として出動
- 平成16年 11月 自治体消防55周年記念式典参加(東京都)
1月 消防本部の消防長車(亀山51)更新
2月 関消防署の水槽付消防ポンプ自動車(A-2)更新

- 3月 亀山消防署に30m級はしご付消防ポンプ自動車配置
ISO14001認証取得
- 4月 亀山消防署の救助工作車を関消防署へ配置替え
職員1名欠員補充
亀山市消防団規則の一部改正に伴い7分団制から8分団制に組織改革、並びに女性消防団発足
第1分団(亀山地区北部)
第2分団(神辺地区)
第3分団(昼生地区)
第4分団(川崎地区)
第5分団(野登地区)
第6分団(白川地区)
第7分団(井田川地区)
第8分団(亀山地区南部)
- 12月 消防防災備蓄倉庫竣工
構造 鉄骨造2階建
延べ面積 163.9㎡
- 平成17年 1月 11日、亀山市と関町(1市1町)による市町村合併により新市誕生
合併に伴い、消防団組織の見直しを行い、一団制、12分団及び女性分団が発足し、定員415名となる。
- 4月 職員2名増員
- 5月 救急救命士資格取得1名
- 7月 消防本部広報車(亀山61更新)
- 10月 移動体電話119番直接受信運用開始
- 平成18年 2月 第8分団(阿野田)分団車庫及びホース干し鉄塔新築、小型動力ポンプ付き積載車1台配置(増)
- 3月 六代消防長 米田功氏退職
職員3名退職
- 4月 七代消防長に竹内清氏就任
職員5名採用
- 平成19年 5月 救急救命士資格取得1名
- 3月 第9分団(関地区消防団詰所)積載車更新
亀山消防署 高規格救急車(救急亀山2)を更新
職員3名退職
- 4月 職員5名採用

平成18年度中における主な行事等

年	月	日	内 容
平成18年	4	14	三重県消防長会議及び意見発表会(津市)
		20	三重県内高速道路消防連絡協議会全員協議会(四日市市)
		21	全国消防長会東海支部総会(岐阜県高山市)
	5	19	危険物取扱者試験予備講習会
		22	三重県危険物安全協会総会及び理事会(津市)
		26	亀山市防火協会総会
		28	亀山市水防訓練(関消防署南グランド)
	6	3~9	危険物安全週間
		6	亀山市幼少年婦人防火委員会
		11	亀山市消防団消防操法指導会
	7	2	第2回亀山市消防団消防操法競技大会(神辺小学校)
		14	鈴亀地区消防連絡協議会定例会(亀山市消防本部)
		22	三重県消防操法大会
		27・28	防火管理者資格取得講習会
	8	4	第35回救助技術東海地区指導会(三重県消防学校)
	9	3	亀山市総合防災訓練(南小学校外)
		10	三重県総合防災訓練(松阪市)
	10	5	三重県警防技術交換会(県消防学校)
		11・12	北勢支会消防団長視察研修(新潟県)
		13	危険物取扱者試験予備講習会
		20	三重県消防殉職者慰霊祭(県消防学校)
		27	消防連絡協議会幹部視察研修(坂出市)
	11	9~15	秋季火災予防運動
		11	秋季火災予防運動に伴う防火フェア(亀山市文化会館)
		21	三重県消防長会議(四日市市)
	12	10	亀山市消防団訓練(亀山中学校)
	平成19年	1	7
26			文化財防火デーに伴う消防訓練(亀山市歴史博物館)
2		2	三重県内高速道路消防連絡協議会訓練(東名阪道鈴鹿TB)
		3	鈴亀地区消防協議会視察研修(京都)
3		1~7	春季火災予防運動
		1	第22回消防職員意見発表会
		15	三重県危険物安全協会総会及び理事会(津市)
		18	第57回三重県消防大会(津市)

亀 山 市 勢

面 積 190.91 km²
人 口 49,110 人
世 帯 数 18,748 世帯

(行政人口 平成19年4月1日現在)

消 防 本 部 設 置 年 月 日 昭和24年 2月 11日
亀 山 市 消 防 署 設 置 年 月 日 昭和42年 4月 1日
亀 山 市 消 防 署 関 分 署 設 置 年 月 日 昭和54年 10月 1日
亀 山 消 防 署 設 置 年 月 日 平成9年 4月 1日
関 消 防 署 設 置 年 月 日 平成9年 4月 1日
消 防 本 部、消 防 署 所 在 地 三重県亀山市野村四丁目1番23号
関 消 防 署 所 在 地 三重県亀山市関町木崎37番地の1

人口等に対する消防力の比較表

(H19.4.1現在)

消 防 本 部 ・ 消 防 署	消防吏員 76 名	吏員 1 名に対する	面 積	2.52 km ²
			人 口	646 人
			世帯数	247 世帯
	消防ポンプ 7 台	ポンプ 1 台に対する	面 積	27.27 km ²
			人 口	7,016 人
			世帯数	2,678 世帯

市予算と消防予算の比較表

(単位 千円)

区分 年度	市予算額	消防予算額	比率(%)	備 考
平成15年度	13,736,000	864,020	6.3	当初予算
平成16年度	16,897,000	680,190	4.0	"
平成17年度	18,899,400	761,772	4.0	"
平成18年度	18,429,700	801,685	4.3	"
平成19年度	20,570,100	868,604	4.2	"

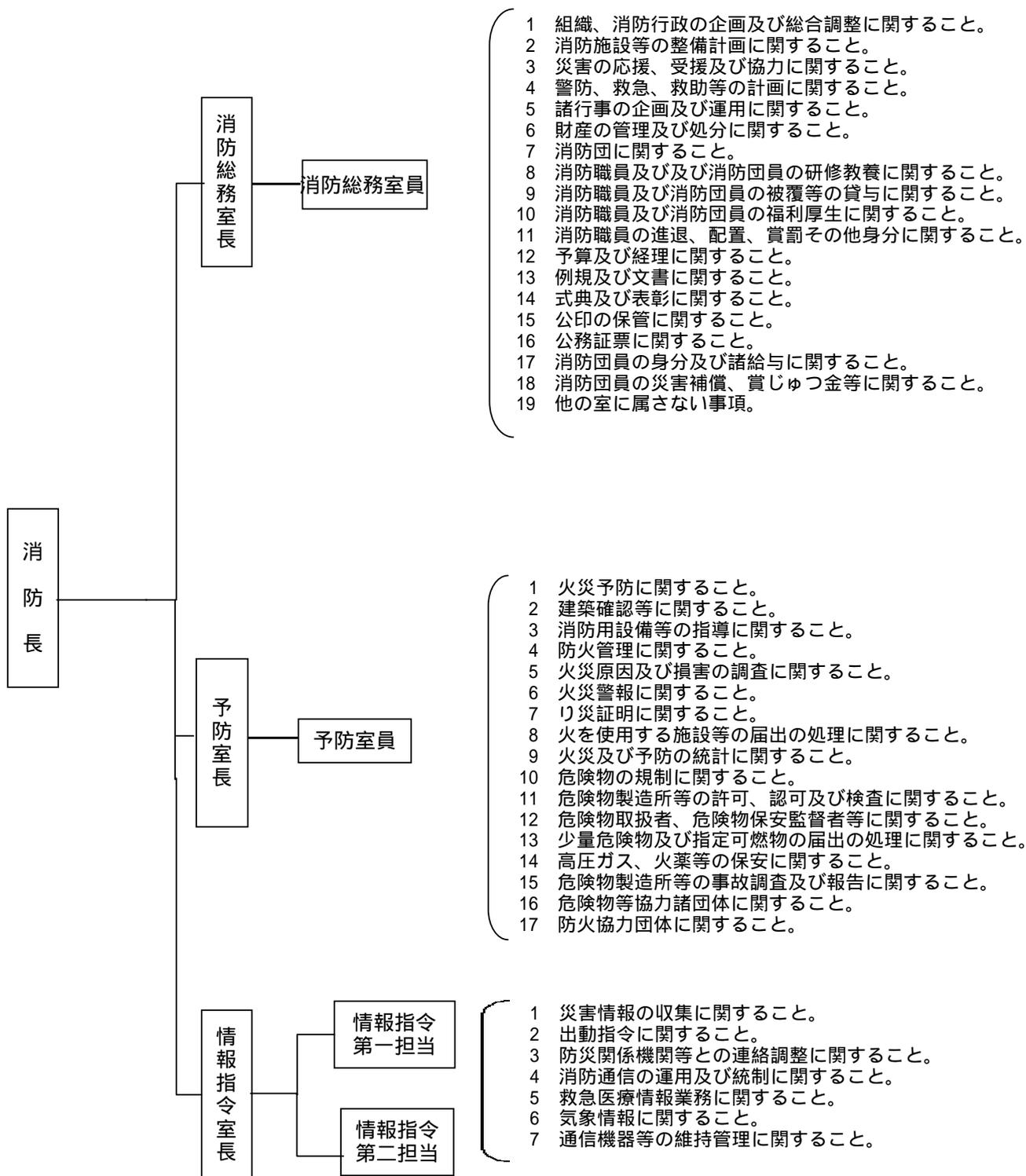
消 防 予 算 表

(単位 千円)

区分 年度	合 計	常備消防費	非常備消防費	消防施設費
平成15年度	864,020	597,360	37,789	228,871
平成16年度	680,190	575,433	36,527	68,230
平成17年度	761,772	610,454	73,153	78,165
平成18年度	801,685	653,256	61,009	87,420
平成19年度	868,604	716,050	58,342	94,212

備考・平成17年1月10日までの消防事務委託に係る両市町の常備消防費負担額は、人口及び基準財政需要額をもとに算出。(亀山市81.1% 関町18.9%で運用)
 ・平成17年1月11日鈴鹿郡関町と市町村合併。

消防本部組織・事務分掌

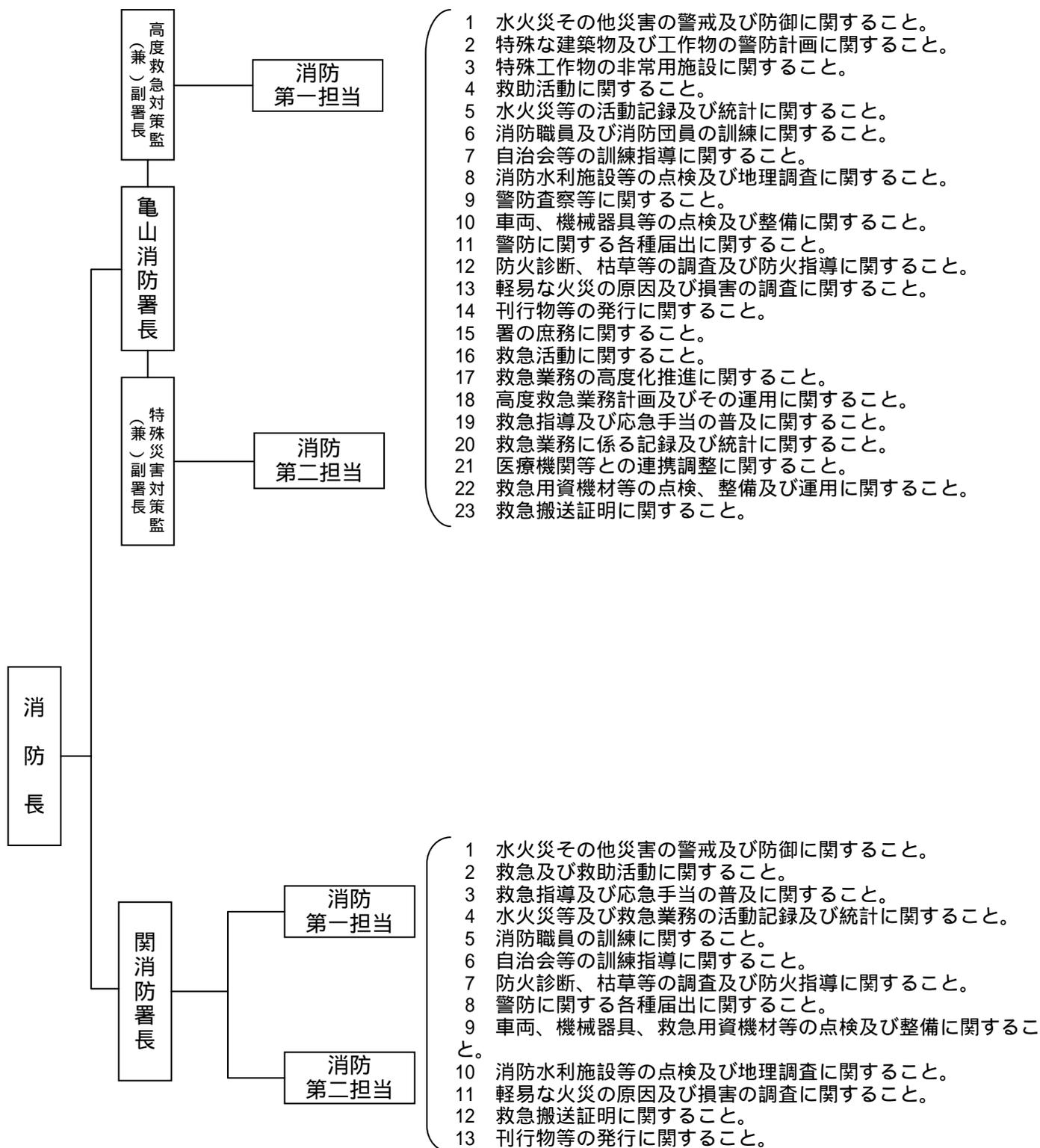


- 1 組織、消防行政の企画及び総合調整に関すること。
- 2 消防施設等の整備計画に関すること。
- 3 災害の応援、受援及び協力に関すること。
- 4 警防、救急、救助等の計画に関すること。
- 5 諸行事の企画及び運用に関すること。
- 6 財産の管理及び処分に関すること。
- 7 消防団に関すること。
- 8 消防職員及び及び消防団員の研修教養に関すること。
- 9 消防職員及び消防団員の被覆等の貸与に関すること。
- 10 消防職員及び消防団員の福利厚生に関すること。
- 11 消防職員の進退、配置、賞罰その他身分に関すること。
- 12 予算及び経理に関すること。
- 13 例規及び文書に関すること。
- 14 式典及び表彰に関すること。
- 15 公印の保管に関すること。
- 16 公務証票に関すること。
- 17 消防団員の身分及び諸給与に関すること。
- 18 消防団員の災害補償、賞しゅつ金等に関すること。
- 19 他の室に属さない事項。

- 1 火災予防に関すること。
- 2 建築確認等に関すること。
- 3 消防用設備等の指導に関すること。
- 4 防火管理に関すること。
- 5 火災原因及び損害の調査に関すること。
- 6 火災警報に関すること。
- 7 り災証明に関すること。
- 8 火を使用する施設等の届出の処理に関すること。
- 9 火災及び予防の統計に関すること。
- 10 危険物の規制に関すること。
- 11 危険物製造所等の許可、認可及び検査に関すること。
- 12 危険物取扱者、危険物保安監督者等に関すること。
- 13 少量危険物及び指定可燃物の届出の処理に関すること。
- 14 高圧ガス、火薬等の保安に関すること。
- 15 危険物製造所等の事故調査及び報告に関すること。
- 16 危険物等協力諸団体に関すること。
- 17 防火協力団体に関すること。

- 1 災害情報の収集に関すること。
- 2 出動指令に関すること。
- 3 防災関係機関等との連絡調整に関すること。
- 4 消防通信の運用及び統制に関すること。
- 5 救急医療情報業務に関すること。
- 6 気象情報に関すること。
- 7 通信機器等の維持管理に関すること。

消防署組織・事務分掌



職員配置表

(H19.4.1現在)

階級別 区分		合計	消 防 吏 員							消 防 副 士 長	消 防 士
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長		
定 員		76	階級別条例定員なし								
職 員 数		76	1	1	6	8	24	17	0	19	
消 防 本 部	消防長	1	1								
	消防総務室長	1		1							
	消防総務室員	5				1	1	3			
	消防総務室付 市役所出向	1				1					
	消防総務室付 消防学校派遣	5								5	
	予防室長	1			1						
	予防室員	5				1	2	2			
	情報指令室長	1			1						
	情報指令室員	8				1	5			2	
亀 山 消 防 署	署長	1			1						
	特殊災害対策監 (兼)副署長	1			1						
	高度救急対策監 (兼)副署長	1			1						
	亀山消防署員	26				2	11	7		6	
関 消 防 署	署長	1			1						
	関消防署員	18				2	5	5		6	

消防職員勤続年数表

(H19.4.1現在)

階級別 年数	合計	消防吏員							
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
実員	76	1	1	6	8	24	17	0	19
平均	22.1	2	37	38.2	34.1	29.1	11.5		3
5年未満	18	1							17
5年以上 10年未満	8						6		2
10年以上 15年未満	9						9		
15年以上 20年未満	3					1	2		
20年以上 25年未満	3					3			
25年以上 30年未満	14				2	12			
30年以上 35年未満	12			2	3	7			
35年以上	9		1	4	3	1			

消防職員数の累年比較表

(H19.4.1現在)

階級別 年別	合計	消 防 吏 員								事務 吏員
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
平成4年	62		1	2	3	12	18	19	6	1
平成5年	62		1	3	7	12	25	8	5	1
平成6年	64		1	3	7	12	25	8	7	1
平成7年	65		1	5	9	12	23	7	7	1
平成8年	67		1	5	9	12	23	7	9	1
平成9年	67	1		5	8	12	26	2	12	1
平成10年	68	1		5	8	12	27	1	13	1
平成11年	68	1	1	4	8	12	28	1	12	1
平成12年	68	1	1	4	8	12	28		13	1
平成13年	67	1	1	4	8	12	29		12	
平成14年	68	1	1	4	8	19	23		11	1
平成15年	70	1	1	4	8	21	22		13	
平成16年	71	1	1	7	8	21	22		11	
平成17年	73	1	1	7	9	25	18		12	
平成18年	74	1	2	6	7	25	18		15	
平成19年	76	1	1	6	8	24	17		19	

消 防 庁 舎 の 概 要

(H19 . 4 . 1 現在)

亀山市消防本部・亀山消防署

所在地	三重県亀山市野村四丁目1番23号
構造	鉄筋コンクリート造3階建
敷地面積	6,121.26㎡
建築面積	1,711.08㎡
延べ面積	2,635.89㎡
竣工	平成9年4月1日

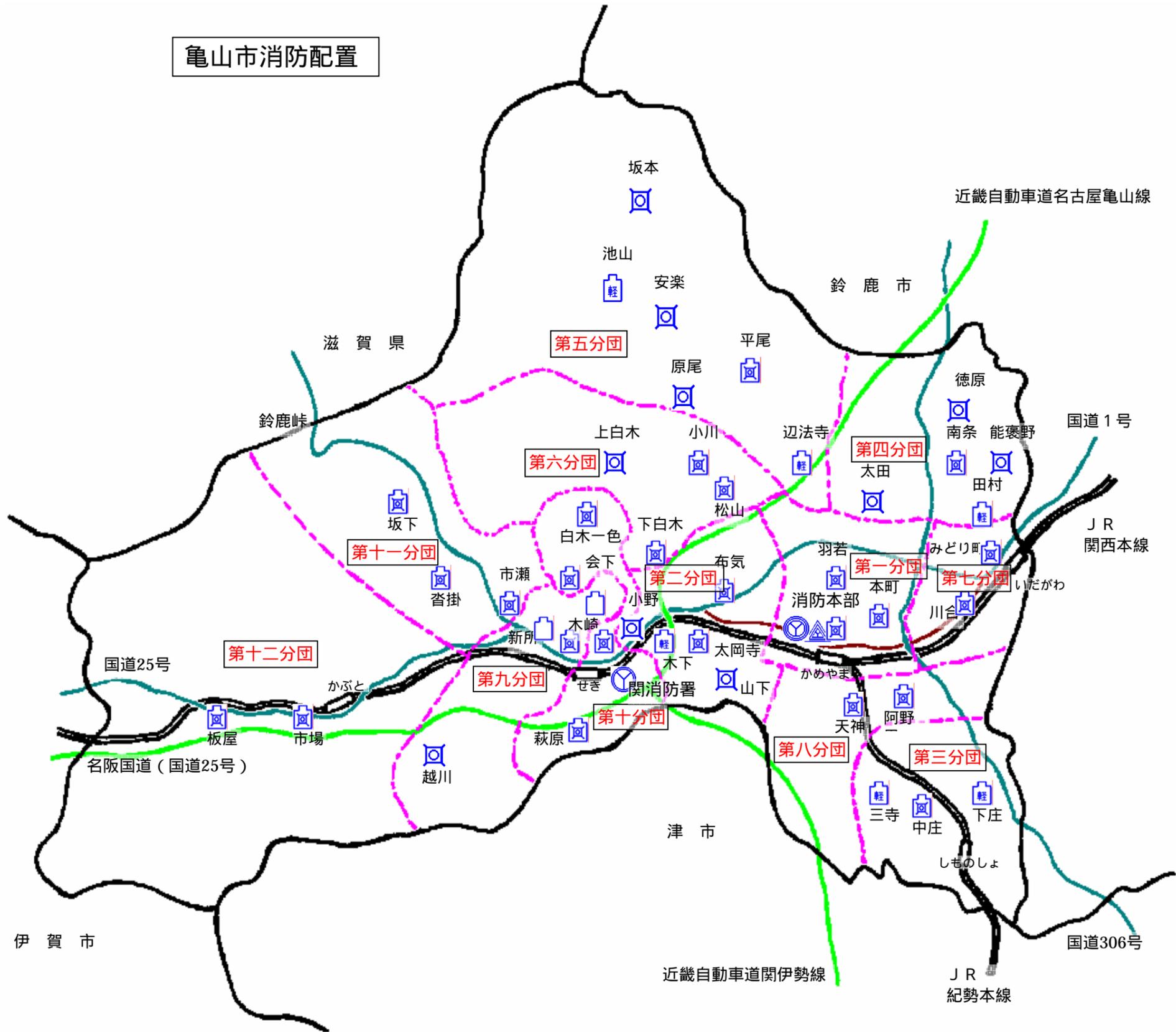


関 消 防 署

所在地	三重県亀山市関町木崎37番地の1
構造	木造2階建一部鉄筋コンクリート造
敷地面積	2,256.00㎡
建築面積	685.43㎡
延べ面積	781.03㎡
竣工	平成15年3月20日



亀山市消防配置



消防ポンプ車等現有状況

種別	区分	亀山消防署	関消防署
化学自動車		1台	
水槽付自動車		1台	1台
ポンプ自動車		2台	1台
救急自動車		2台	1台
はしご自動車		1台	
救助工作車			1台
広報車		2台	1台
山林火災用軽四積載車		1台	
事務連絡車等		2台	
小型動力ポンプ	C 1	1台	

種別	区分	亀山市消防団
ポンプ自動車		2台
小型動力ポンプ付積載		23台
山林火災用軽四積載車		8台
小型動力ポンプ	B 2	2台
	B 3	38台
	D 1	3台

凡例

	消防本部
	消防署
	団本部
	ポンプ自動車
	小型動力ポンプ付積載車
	山林火災用軽四積載車
	小型動力ポンプ
	分団区域線
	自動車道
	国道
	県道

消防本部(署)車両一覧表

(H19.4.1現在)

区分 所属	種別等	車両	種別等	車両
消防本部 ・ 亀山消防署	消防長車(亀山51) 登録 鈴鹿300さ15-13 車名 トヨタ 年式 H16 排気量 1980cc		指令広報車(亀山52) 登録 三重800さ46-87 車名 日産 年式 H13 排気量 1760cc	
	防災広報車(亀山61) 登録 三重800す13-93 車名 日産 年式 H17 排気量 2950cc		事務連絡車 登録 三重41み31-16 車名 スズキ 年式 H9 排気量 660cc	
	はしご車(亀山31) 登録 三重800は 732 車名 日野 年式 H16 排気量 20780cc		水槽付ポンプ車(亀山7) 登録 三重800は 262 車名 イスズ 年式 H13 排気量 8220cc	
	普通ポンプ車(亀山3) 登録 三重88ほ16-05 車名 イスズ 年式 H1 排気量 3636cc		普通ポンプ車(亀山6) 登録 三重88ほ46-55 車名 三菱 年式 H4 排気量 4210cc	
	高規格救急車 (救急亀山1) 登録 三重800さ74-00 車名 日産 年式 H14 排気量 3490cc		高規格救急車 (救急亀山2) 登録 鈴鹿830さ 119 車名 トヨタ 年式 H19 排気量 2690cc	
	化学車(亀山2) 登録 三重88ほ26-44 車名 日野 年式 H3 排気量 7410cc		山林火災用軽四輪車 (亀山5) 登録 三重80あ23-14 車名 ダイハツ 年式 H12 排気量 660cc	

区分 所属	種別等	車両	種別等	車両
関消防署	普通ポンプ車(関1) 登録 三重88ま 460 車名 イスズ 年式 H8 排気量 4570cc		水槽付ポンプ車(関2) 登録 三重800さ90-32 車名 三菱 年式 H15 排気量 8200cc	
	救助工作車(亀山41) 登録 三重88ゆ22-94 車名 日野 年式 H10 排気量 7960cc		高規格救急車 (救急関1) 登録 三重800さ57-30 車名 トヨタ 年式 H13 排気量 3370cc	
	指令広報車(関51) 登録 三重88す28-32 車名 スズキ 年式 H6 排気量 1590cc			

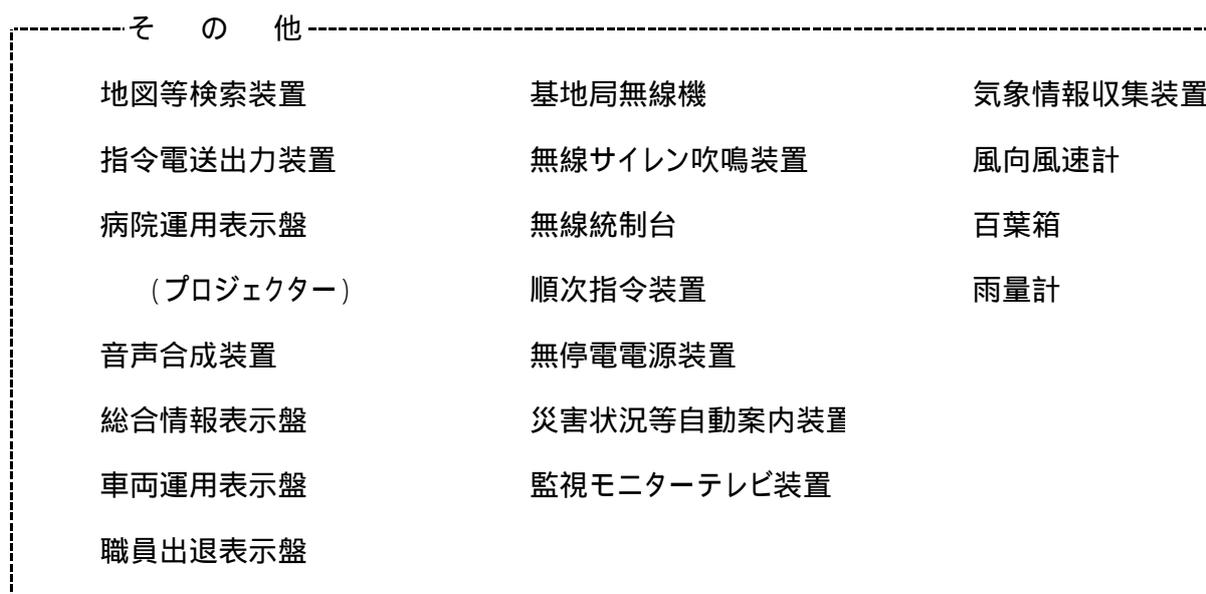
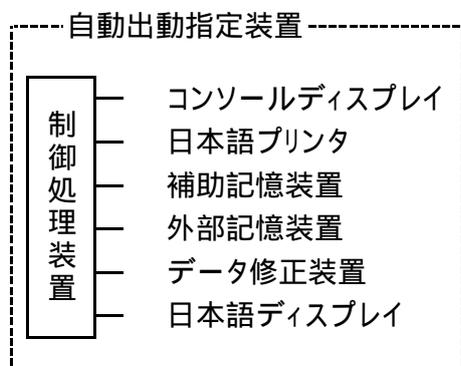
通 信 施 設 一 覧 表

(H19.4.1現在)

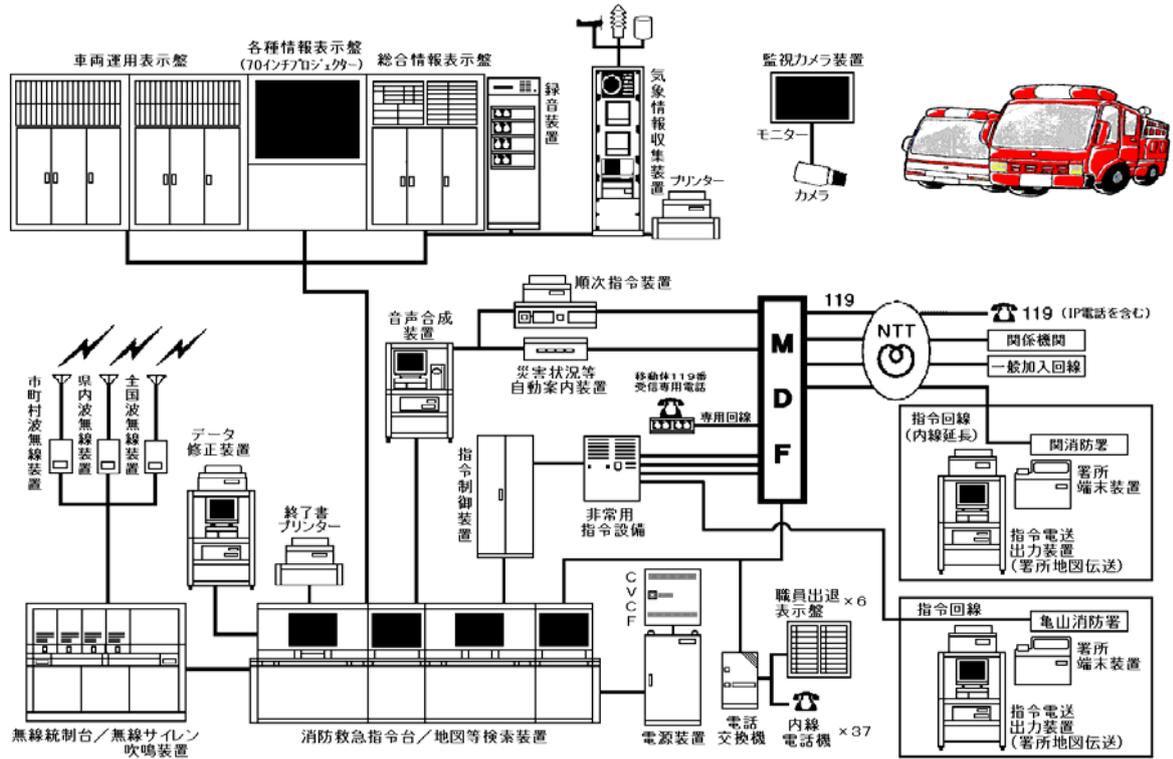
種 別	項 目		回 線	適 用
	装 備			
電 話 施 設	火災救急専用電話(119)		23	亀山局2、川崎野登局2、関局2、加太局2、IP電話6、衛星1、携帯8
	国土交通省電話		1	名阪国道非常電話
	道路公団電話		1	近畿自動車道名古屋亀山線、近畿自動車道関伊勢線
	防災行政無線電話		6	地上系1、衛星系3、ファクシミリ1、衛星(可搬式)1
	一般加入電話		5	指令室4、関消防署1
	市役所庁内専用電話		2	着信用4台、発信用33台
	庁内電話		1	1階17台、2階20台
	順次指令用電話		2	オートダイヤルアナウンス装置(発信専用)
	テレホンサービス用電話		2	災害状況等自動案内装置(着信専用)
	救急医療情報システム用電話		4	窓口用、システム用、連絡用、緊急用(携帯電話)
	ファクシミリ		4	指令室、本部事務室、亀山消防署、関消防署
	携帯電話		3	亀山消防署、関消防署、予防室
	自動車電話		2	救急かめやま1、救急かめやま2、救急せき1
	救急用心電図伝送装置		1	亀山市立医療センター(救急車車載伝送装置専用)
消 防 無 線 施 設	配置数	呼び出し名称	適 用	
	2	かめやましょうぼう	市町村波151.31MHz 県内波153.53MHz 全国波150.73MHz 空中線電力 10W	
2	せきしょうぼう	市町村波151.31MHz 県内波153.53MHz 全国波150.73MHz 全国波148.75MHz 全国波154.15MHz 空中線電力 10W		
41	かめやま 1	小型動力ポンプ付積載車		
41	かめやま 2	化学車		
41	かめやま 3	普通ポンプ車		
41	かめやま 5	山林火災用軽四輪車		
41	かめやま 6	普通ポンプ車		
41	かめやま 7	水槽付ポンプ車		
41	救急かめやま 1	高規格救急車		
41	救急かめやま 2	高規格救急車		
41	かめやま 3 1	はしご車		
41	かめやま 4 1	救助工作車		
41	かめやま 5 1	消防長車		
41	かめやま 5 2	指令広報車		
41	かめやま 6 1	防火広報車		
41	せき 1	普通ポンプ車		
41	せき 2	水槽付ポンプ車		
41	救急せき 1	高規格救急車		
41	せき 5 1	指令広報車		
		かめやま101~117,123,124(5W19局)		
		せき101~105(5W5局)		
		自動遠隔サイレン吹鳴装置	基地局1基	子局10基
		同報無線サイレン吹鳴装置	基地局1基	子局3基

消防通信系統

最先端の電子技術を駆使した「消防緊急通信指令施設」は、万一の災害発生時により早く、よりの確に対応すべくコンピューターと通信技術によって、情報の伝達と、処理を効率的に行い消防活動の拠点として設置しております。



消防通信系統図



主な資器材の種類及び数量表

(H 1 9 . 4 . 1 現在)

種別	品名	数量
消 防 用	泡消火薬剤(界面活性剤)	2,030 ^{リットル}
	背負い式消火水のう	34
	ウォ-ターカ-テンホース	30
	発電機	14
	チェーンソー	3
	空気呼吸器	41
	耐熱服	3
	耐ガス密閉式防護服	2
	防毒衣	3
	コンビネーションガス検知器(防爆型)	1
	可燃性ガス検知器	2
	インパルス消火システム	1
	陽圧式化学防護服	2
	除染シャワー	1
	除染剤散布器	1
	エアーテント一式	1
救 助 用	チルホール	4
	エンジンカッター	3
	救命索発射銃	2
	ポートパワー	2
	ガス溶断機	2
	エアーソー	1
	救命胴衣	22
	救命浮輪	7
	ゴムポート	1
	熱画像探索機	2
	縛帯	6
	安全帯	19
	安全マット	8
	サバイバースリング	1
	マンホール救助器具	1
	携帯用コンクリート破壊器具	1
	マット型空気ジャッキ	1
	チェーンブロック	1
	油圧救助器具	2
	空気切断機(エアーツール)	1
ハンマードリル	1	
放射線測定器	1	
バスケット担架	1	

種別	品名	数量
救助用	簡易型画像探索機	1
	削岩機	1
	送排風機	1
	耐電衣一式	2
	耐電手袋	5
	張力計(3 t用)	1
	電動金ノコギリ	1
	車両移動器具	2
救急用	携帯用人工蘇生器	4
	マジックギプス	5
	電動式吸引器	5
	自動車電話ファックス	3
	患者監視装置	3
	血中酸素飽和度測定器	3
	自動式心肺蘇生装置	3
	ショックパンツ	4
	心電図伝送装置	3
	自動式除細動器	3
	輸液ポンプ	3
	シャットノクサス	2
	紫外線殺菌灯	3
	E O G滅菌器	2
	超微粒噴霧消毒機	2
	エアーストレッチャー	1
気管内挿管練習モデル	1	
レサシアンダミー(乳児2体、少年2体等を含む)	12	
予防用	漏電計	1
	接地抵抗計	1
	引火点測定器	1
	騒音計	1
	炭化深度測定器	1
	照度計	1
	ピトーゲージ	2
	絶縁抵抗器	1
	超音波厚さ計	1
	電磁式膜厚計	1

龜山市消防水利一覽表

H 19.4.1 現在

区 分		地区別	合 計	小 計	龜 山	井 田 川	神 辺	昼 生	川 崎	野 登	白 川	小 計	関	関 周 辺	加 太	坂 下
		合 計	2,016	1,561	578	285	166	76	230	130	96	455	192	133	100	30
消 火 栓	配 管 径	小 計	1,598	1,268	484	243	140	53	173	100	75	330	147	99	64	20
		5 0 mm	12	10	2			7	1			2	1			1
		7 5 mm	647	460	189	92	36	12	65	48	18	187	75	54	46	12
		1 0 0 mm	377	297	91	54	30	13	46	30	33	80	27	34	15	4
		1 2 5 mm	22	11	5	4				1	1	11	11			
		1 5 0 mm	313	288	122	55	22	19	30	21	19	25	10	9	3	3
		2 0 0 mm	79	55	30	8	2	2	8		5	24	22	2		
		2 5 0 mm	41	40	18	5	17					1	1			
		3 0 0 mm	49	49	9	10	25			5						
		3 5 0 mm	29	29	11	10	8									
		4 0 0 mm	21	21	4	5				12						
		4 5 0 mm	8	8	3					5						
防 火 水 槽	公 設	小 計	418	293	94	42	26	23	57	30	21	125	45	34	36	10
		2 0 m ³ 未満	42	26	6	6	3		5	4	2	16	4	3	9	
		2 0 m ³ 以上 ~ 4 0 m ³ 未満	104	63	16	3	8	6	14	9	7	41	11	12	14	4
		4 0 m ³ 以上 ~ 6 0 m ³ 未満	259	194	63	32	15	17	38	17	12	65	29	18	13	5
		6 0 m ³ 以上 ~ 1 0 0 m ³ 未満	7	5	5							2		1		1
		1 0 0 m ³ 以上	6	5	4	1						1	1			
		二次製品	105	97	34	21	8	5	19	4	6	8	3	1	4	

平成18年度主要事業(施設・備品整備)一覧表

主 要 事 業 名	内 容
防災基盤整備事業 防火水槽新設工事 車両更新	40m ³ 級有蓋地下埋設式 3基 川崎町柴崎 白木町上白木 関町鷺山 高規格救急自動車及び積載機具更新 第9分団小型動力ポンプ積載車更新
市単独事業 消防団車庫修繕工事 消防防災設備等整備事業	第10分団会下車庫スレート張替え修繕 第6分団白木車庫照明設備設置工事
消火栓設置工事	新設 19 基 移設 24 基
自治会消防用設備 設置費補助事業	消火器具収納ボックス等 16自治会 20設備等

防 火 対 象 物 一 覧 表

(H19. 4. 1現在)

防火対象物の別		施行令第6条による防火対象物	防火管理者を必要とする防火対象物		
			甲 種	乙 種	
1	イ	劇場・映画館・観覧場	1	1	
	ロ	公会堂・集会場	49	13	67
2	イ	キャバレー・カフェー等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	4	4	
	ハ	風俗営業等の店舗			
3	イ	待合・料理店の類			
	ロ	飲食店	23	9	17
4		百貨店・マーケット等	56	24	9
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	20	13	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	324	22	1
6	イ	病院・診療所・助産所	19	6	2
	ロ	養護施設・児童福祉施設	34	22	1
	ハ	幼稚園・養護学校	8	5	
7		小・中・高・大学・各種学校	57	20	3
8		図書館	3	2	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等			
	ロ	公衆浴場			
10		停車場	4		
11		神社・寺院・教会の類	20	2	1
12	イ	工場・作業場	458	49	1
	ロ	映画・テレビスタジオ	1		
13	イ	車庫・駐車場	22		
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	261	1	
15		前各項に該当しない事業所	257	25	7
16	イ	特定複合用途建築物	155	48	23
	ロ	その他の複合用途建築物	86	2	3
17		文化財等の建造物	8	2	
18		延長50m以上のアーケード	1		
合 計			1,871	270	135

防 火 対 象 物 建 築 同 意 件 数

(H18.4~H19.3)

種 別		合 計	新 築	増 築	その他
防火対象物の別					
1	イ	劇場・映画館・観覧場			
	ロ	公会堂・集会場			
2	イ	キャバレー・カフェ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール			
	ハ	風俗営業等の店舗			
3	イ	待合・料理店の類			
	ロ	飲食店	1	1	
4		百貨店・マーケット等	6	6	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	2	2	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	66	65	1
6	イ	病院・診療所・助産所	3	2	1
	ロ	養護施設・児童福祉施設	2	1	1
	ハ	幼稚園・養護学校			
7		小・中・高・大学・各種学校			
8		図書館			
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等			
	ロ	公衆浴場			
10		停車場			
11		神社・寺院・教会の類			
12	イ	工場・作業場	44	26	15
	ロ	映画・テレビスタジオ			
13	イ	車庫・駐車場	1	1	
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	25	22	3
15		前各項に該当しない事業所	17	16	1
16	イ	特定複合用途建築物	4	4	
	ロ	その他の複合用途建築物	2	2	
17		文化財等の建造物			
18		延長50m以上のアーケード			
合 計			173	148	21
				21	4

消防用設備等着工・設置届処理状況表

(H18.4～H19.3)

設置別		届出別	
		着工届	設置届
消 火 設 備	消 火 器		61
	屋 内 消 火 栓	8	10
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	3	
	粉 末 消 火 設 備	6	6
	泡 消 火 設 備	1	1
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	3	2
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備		
	屋 外 消 火 栓 設 備	6	7
	動 力 消 防 ポ ン プ	1	1
	簡 易 自 動 消 火 設 備		
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	75	64
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	1	3
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備		
	漏 電 火 災 警 報 機		
	非 常 警 報 設 備	6	5
避 難 設 備	誘 導 灯	28	25
	避 難 器 具	12	10
消 防 用 水		1	1
連 結 送 水 管		7	6
合 計		158	202

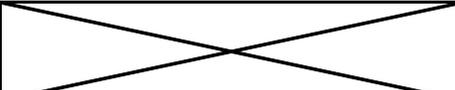
各種届出処理状況表

(H18.4~H19.3)

区 分	件 数
防火対象物使用開始届	93
消 防 計 画	40
防火管理者選解任届	75
乾 燥 設 備	3
炉	2
厨 房 設 備	
ボ イ ラ ー 設 備	1
給 湯 湯 沸 設 備	2
変 電 設 備	18
発 電 設 備	8
蓄 電 池 設 備	9
ネ オ ン 管 灯 設 備	1
り 災 証 明 交 付 数	19
喫 煙 ・ 裸 火 の 使 用 等	12
火 災 と ま ぎ ら わ し い 行 為	36
煙 火 打 上	28
道 路 交 通 障 害	881
水 道 の 断 水	25
催 物 開 催	2
少 量 危 険 物	39
指 定 可 燃 物	8
液 化 石 油 ガ ス	45
合 計	1347

幼少年婦人防火委員会加入団体一覧表

(H19. 4. 1 現在)

ク ラ ブ 名 称	クラブ員数	結成年月日
亀山愛児園幼年消防クラブ	65	昭和59年12月1日
亀山市第三愛護園幼年消防クラブ	35	昭和59年12月1日
川崎愛児園幼年消防クラブ	44	昭和59年12月1日
平尾婦人防火クラブ	18	昭和60年12月1日
坂本婦人防火クラブ	14	昭和63年7月1日
池山婦人防火クラブ	7	昭和63年7月1日
安楽婦人防火クラブ	8	昭和63年7月1日
原尾婦人防火クラブ	15	昭和63年7月1日
辺法寺婦人防火クラブ	23	昭和63年7月1日
市瀬西組婦人防火クラブ	12	平成元年5月12日
小川婦人防火クラブ	10	平成6年6月1日
楠平尾婦人防火クラブ	35	平成8年4月1日
合 計	286	

危険物製造所等の施設推移状況表(完成検査済)

(H19.4.1現在)

製造所等		年度別				
		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
合 計		358 (74)	369 (77)	363 (76)	383	399
製 造 所		2	2	2	2	2
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所	48 (13)	49 (14)	47 (14)	48	52
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	75 (18)	70 (18)	69 (18)	69	70
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	11	24	24	37	42
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	67 (12)	69 (12)	66 (12)	66	65
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	13 (8)	14 (9)	17 (9)	17	17
	屋 外 貯 蔵 所	19 (2)	18 (2)	18 (2)	18	18
取扱所	給油取扱所(営業用)	29 (6)	28 (6)	27 (5)	26	25
	給油取扱所(自家用)	29 (7)	30 (8)	28 (8)	31	32
	販 売 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所	65 (8)	65 (8)	65 (8)	69	76

()内は、旧関町管内の件数を再掲

危険物製造所等の地区別施設状況表(完成検査済)

(H19.4.1現在)

製造所等		地区別								
		合計	亀山	井田川	神辺	昼生	川崎	野登	白川	関
合 計		399	84	40	53	17	61	13	55	76
製 造 所		2			1		1			
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所	52	5	6	9	2	10	1	4	15
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	70	19	17	1	1	10	4		18
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	42	3	2	5		1		31	
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	65	25	2	14		7	3	3	11
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所									
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	17	6	1			1			9
	屋 外 貯 蔵 所	18	3	1	1	11				2
取扱所	給油取扱所(営業用)	25	5	7	3	1	3	1		5
	給油取扱所(自家用)	32	5	1	8	2	4	3	1	8
	販 売 取 扱 所									
	一 般 取 扱 所	76	13	3	11		24	1	16	8

危険物製造所等の許可・完成検査状況表

(H18.4~H19.3)

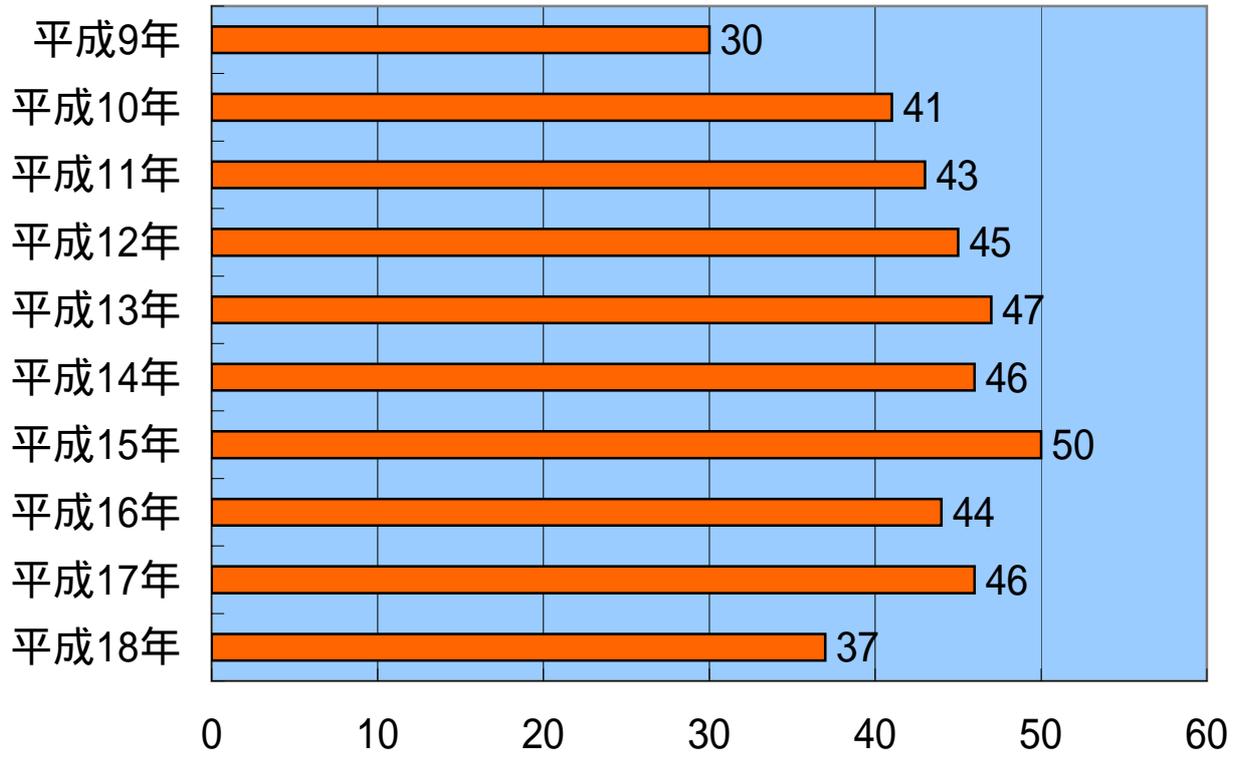
製造所等		月 別												
		合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
許 可 (設 置 ・ 変 更)	合 計	69	8	1	4	3	3	7	8	9	11	3	8	4
	製 造 所	2	1											1
	屋 内 貯 蔵 所	5				1	1			3				
	屋外タンク貯蔵所	5			1								4	
	屋内タンク貯蔵所	17	2		2			3	1	2	6		1	
	地下タンク貯蔵所	2							2					
	簡易タンク貯蔵所													
	移動タンク貯蔵所	1								1				
	屋 外 貯 蔵 所													
	給油取扱所(営業用)	5	1						1		1	1		1
	給油取扱所(自家用)	4							1	2				
	販 売 取 扱 所													
一 般 取 扱 所	28	4	1	1	2	2	2	3	2	4	3	2	2	
完 成 検 査 (設 置 ・ 変 更)	合 計	57	7	5	3	2	5	3	3	6	5	4	11	3
	製 造 所	1		1										
	屋 内 貯 蔵 所	5		1						1	3			
	屋外タンク貯蔵所	2		1			1							
	屋内タンク貯蔵所	14	3		2						1	2	6	
	地下タンク貯蔵所	3	1							2				
	簡易タンク貯蔵所													
	移動タンク貯蔵所	1											1	
	屋 外 貯 蔵 所													
	給油取扱所(営業用)	5							2			1		1
	給油取扱所(自家用)	3								2	1			
	販 売 取 扱 所													
一 般 取 扱 所	23	3	2	1	2	4	1	1	2		1	4	2	

危険物製造所等申請・届出処理状況表

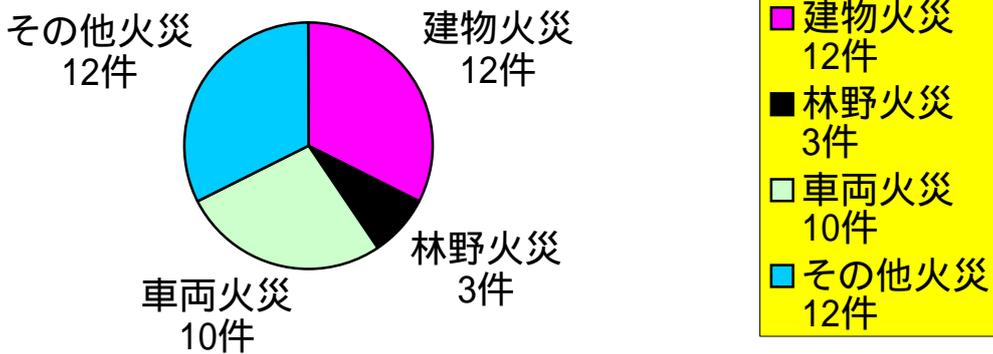
(H18.4~H19.3)

月別 区分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	139	26	11	10	7	7	16	8	13	16	6	7	12
保安監督者 選任・解任届出届	25	5	2	1	1	1	6	1	3	2	1		2
危険物取扱者 選任・解任届書	10	3	1	1	1				2	2			
設置者の氏名 変更届書	15	5	1	2	1	1	1		2				2
品名、数量又は指定 数量の倍数変更届書	1									1			
廃止届出書	7	1			1				1	1	2	1	
仮貯蔵仮取扱承認 申請書	6					1	2		1	2			
仮使用承認申請書	35	7	1	2	1	1	2	3	3	6	1	5	3
資料提出書	26	5	3	2	2	3	2	3	1	1	1		3
危険作業開始届出書	2										1	1	
危険物事故発生届	1							1					
休止届出書													
予防規程認可申請書	4			1			1			1			1
完成検査前検査申請書													
譲渡引渡届	6		3	1			1						1
在庫管理計画書													
完成検査済証 再交付申請書	1						1						

10年間の火災件数



平成18年火災種別



10年間の火災件数・損害額等比較表

区分 年別	火災件数					焼損面積		死傷者		損害額(千円)
	合計	建物	林野	車両	その他	建物(m ²)	林野(a)	死者	負傷者	
平成9年	30	8	7	6	9	287	121	1	3	28,836
	9	1	2	4	2	8	67		2	7,689
平成10年	41	14	2	10	15	1,458	2		6	46,375
	6	1		3	2	1			1	640
平成11年	43	9	10	9	15	167	42		1	43,971
	11	2	3	2	4	49	27			6,740
平成12年	45	16	2	5	22	1,819	2	1	5	229,307
	9	3		2	4	718			2	74,631
平成13年	47	8	5	11	23	187	16		5	19,113
	11	2		4	5	15				5,994
平成14年	46	7	2	10	27	1,388	2	1	3	84,555
	8	1	1	4	2	1,100	2		2	45,468
平成15年	50	18	1	17	14	1,144	2		4	87,019
	6			6						2,807
平成16年	44	15	2	13	14	1,140	3		1	116,171
	11	2		6	3	43				4,392
平成17年	46	17	2	13	14	626	1		3	49,912
平成18年	37	12	3	10	12	856	6	1	2	41,797

平成9年から16年までの下欄は旧関町内の件数等で再掲

出火原因及び月別件数状況表

原因別 \ 月別	合	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
	計	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
合計	37	5	3	4	3	3	1	5	4	2		3	4
たばこ	1											1	
こんろ													
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ	1			1									
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道	4		1			1		2					
排気管													
電気機器													
電気装置													
電灯・電話等の配線	1					1							
内燃機関													
配線器具													
火あそび	1	1											
マッチ・ライター													
たき火	3	2							1				
溶接機・切断機	2						1	1					
衝突の火花													
取灰													
火入れ	3	1		1	1								
放火	1									1			
放火の疑い	3				1	1			1				
その他	7	1	2	1	1				1	1			
不明	10			1				2	1			2	4

月 別 火 災 状 況 表

区分 月別	出火件数					焼損面積		死傷者		り 災 世 帯	り 災 人 員	損 害 額 (千 円)				
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建物 (m ²)	林野 (a)	死 者	負 傷 者			合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
合 計	37	12	3	10	12	856	6	1	2	6	16	41,797	19,452	3,702	15,647	2,996
1月	5	1	1		3	556	1					15,628	15,628			0
2月	3	2		1						1	4	75	64		11	0
3月	4	1			3	47				1	1	4,183	2,233			1,950
4月	3			1	2							100			100	
5月	3	1		1	1				1			5,715	207		5,508	0
6月	1			1								230			230	0
7月	5	2		3		62						3,487	1,304		2,183	
8月	4	1	1		2	1				1	2	732	16			716
9月	2		1	1			5					348			348	
10月	0											0				
11月	3	1		1	1	13			1	1	4	8,080		813	7,267	
12月	4	3		1		177		1		2	5	3,219		2,889		330

出 火 時 間 帯 別 火 災 状 況 表

区 分 時間帯別	火 災 件 数					焼 損 面 積		死 傷 者		損 害 額 (千 円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物 (m ²)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者	
合 計	37	12	3	10	12	856	6	1	2	41,797
0 ~ 1	3			2	1					2,284
1 ~ 2	1			1					1	5,508
2 ~ 3	2			1	1					7,267
3 ~ 4	0									
4 ~ 5	1			1						11
5 ~ 6	0									
6 ~ 7	0									
7 ~ 8	0									
8 ~ 9	1	1								30
9 ~ 10	2	1			1	3				
10 ~ 11	2		1	1						3
11 ~ 12	2	1			1	42				789
12 ~ 13	5	1	1	1	2		5			244
13 ~ 14	2	1			1	20				2,465
14 ~ 15	4	1	1		2	174	1		1	2,859
15 ~ 16	2	1			1					50
16 ~ 17	0									
17 ~ 18	1				1					711
18 ~ 19	3	2		1		60		1		3,376
19 ~ 20	1	1								207
20 ~ 21	1			1						1
21 ~ 22	1	1				556				15,628
22 ~ 23	1			1						348
23 ~ 24	1				1					
不 明	1	1				1				16

地区別火災状況表

	火災件数					焼損面積		死傷者		損害額(千円)
	合計	建物	林野	車両	その他	建物(m ²)	林野(a)	死者	負傷者	
合計	37	12	3	10	12	856	6	1	2	41,797
亀山	13	7	1	3	2	113	5			6,072
井田川	4	1		2	1	13			1	1,496
神辺	2				2					
昼生	2	1			1	556				15,628
川崎	4	1			3					2,000
野登	1		1				1			
白川	1				1					711
関	6	2		2	2	174		1		2,885
坂下	1			1						230
加太	3		1	2					1	12,775

§ 救 急 §

年別救急出動状況表

亀山消防署月別救急出動件数表

関消防署月別救急出動件数表

時間帯別救急出動件数表

応急処置別件数表

道路別交通事故救急出動件数表・覚知別救急出動件数表

地区別救急出動件数表・住所別搬送人員表

年令別搬送人員表

平成 1 8 年救急概要

出動件数

1, 6 1 9 件



搬送人員

1, 6 5 3 人



1 ヶ月平均出動件数

1 3 5 件

1 ヶ月平均搬送人員

1 3 8 人

1 日平均出動件数

4 . 4 件

1 日平均搬送人員

4 . 5 人

年 別 救 急 出 動 状 況 表

事故別		年別									
		平成 9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
合 計	出動件数	999	1,135	1,057	1,295	1,288	1,320	1,334	1,506	1,532	1,619
	搬送人員	1,025	1,189	1,077	1,323	1,329	1,347	1,368	1,515	1,553	1,653
交通事故	出動件数	262	295	254	311	299	309	284	289	272	289
	搬送人員	326	376	309	383	389	377	367	359	345	365
急 病	出動件数	485	541	548	646	638	692	729	824	917	957
	搬送人員	465	532	522	619	614	670	688	777	871	927
一般負傷	出動件数	135	138	128	159	173	162	173	200	195	204
	搬送人員	128	135	126	152	165	154	170	191	193	200
労働災害	出動件数	18	36	33	33	34	26	24	40	25	31
	搬送人員	18	35	33	33	35	26	24	40	27	31
自損行為	出動件数	12	14	5	13	10	10	15	17	10	16
	搬送人員	10	11	2	7	5	7	14	13	8	11
加 害	出動件数	5	9	8	9	9	9	4	13	10	9
	搬送人員	5	8	7	8	9	9	4	15	11	10
運動競技	出動件数		4	7	8	4	9	10	5	7	7
	搬送人員		4	7	10	4	9	11	5	7	7
水 難	出動件数		1	1		2					
	搬送人員		1	1		2					
火 災	出動件数	1	4	1	6	3	3	1	1		
	搬送人員	1	6	1	5	3	3	1	1		
自然災害	出動件数		5			1			1		
	搬送人員		3			1			1		
そ の 他	出動件数	81	88	72	110	115	100	94	116	96	106
	搬送人員	72	78	69	106	102	92	89	113	91	102

亀山消防署月別救急出動件数表

月別	事故別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
													小計	転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他
合	出動件数	1,208				186	19	5	156	8	12	719	103	98			5
	搬送件数	1,067				161	16	5	144	7	6	628	100	98			2
	不搬送件数	141				25	3		12	1	6	91	3				3
計	搬送人員	1,232				240	19	5	153	9	9	697	100	98			2
1月	出動件数	114				9	2		18	2	2	74	7	7			
	搬送人員	114				11	2		18	2	2	72	7	7			
2月	出動件数	109				11	3		9			75	11	10			1
	搬送人員	106				9	3		9			75	10	10			
3月	出動件数	92				13	1	1	5	3	1	59	9	8			1
	搬送人員	93				16	1	1	5	3	1	57	9	8			1
4月	出動件数	100				16	3		15			57	9	9			
	搬送人員	100				18	3		15			55	9	9			
5月	出動件数	112				18	2		13		2	70	7	6			1
	搬送人員	116				25	2		13		2	68	6	6			
6月	出動件数	102				22	1	1	8		1	63	6	6			
	搬送人員	106				28	1	1	8		1	61	6	6			
7月	出動件数	91				12		1	15	1		54	8	8			
	搬送人員	92				14		1	15	1		53	8	8			
8月	出動件数	95				18	4	1	12		4	53	3	3			
	搬送人員	97				25	4	1	11		3	50	3	3			
9月	出動件数	97				17	1		10		1	59	9	9			
	搬送人員	97				20	1		10			57	9	9			
10月	出動件数	101				22	1	1	21			46	10	10			
	搬送人員	112				36	1	1	21			43	10	10			
11月	出動件数	93				11	1		12	1	1	56	11	11			
	搬送人員	94				17	1		11	1		53	11	11			
12月	出動件数	102				17			18	1		53	13	11			2
	搬送人員	105				21			17	2		53	12	11			1

関消防署月別救急出動件数表

月別	事故別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
													小計	転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他
合	出動件数	411				103	12	2	48	1	4	238	3	2			1
	搬送件数	385				92	9	2	47	1	2	230	2	2			
	不搬送件数	26				11	3		1		2	8	1				1
計	搬送人員	421				125	12	2	47	1	2	230	2	2			
1月	出動件数	30				6	2		2			20					
	搬送人員	33				10	2		2			19					
2月	出動件数	37				4	4		7			22					
	搬送人員	37				5	4		6			22					
3月	出動件数	34				9			2			22	1	1			
	搬送人員	33				10			2			20	1	1			
4月	出動件数	34				10	1		5			18					
	搬送人員	36				12	1		5			18					
5月	出動件数	32				12	1	1	3		1	14					
	搬送人員	41				21	1	1	3		1	14					
6月	出動件数	23				8	1		2		1	11					
	搬送人員	21				7	1		2			11					
7月	出動件数	31				9	1	1	3			17					
	搬送人員	28				7	1	1	3			16					
8月	出動件数	37				12			4			21					
	搬送人員	39				14			4			21					
9月	出動件数	33				7	1		4	1		20					
	搬送人員	33				7	1		4	1		20					
10月	出動件数	40				12			4			23	1	1			
	搬送人員	37				11			4			21	1	1			
11月	出動件数	40				8			6		2	24					
	搬送人員	40				10			6		1	23					
12月	出動件数	40				6	1		6			26	1				1
	搬送人員	43				11	1		6			25					

時間帯別救急出動件数表

時刻別 \ 事故別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	1,619				289	31	7	204	9	16	957	106
0～2未満	77				17			9	2	2	45	2
2～4 "	64				14	1		5	2		40	2
4～6 "	53				10			3	1	1	35	3
6～8 "	132				27	2		16		1	86	
8～10 "	209				50	7	1	29		1	102	19
10～12 "	174				36	5	1	20			94	18
12～14 "	181				30	2	2	27	1		108	11
14～16 "	172				26	4	2	30		2	94	14
16～18 "	145				25	5		17		1	86	11
18～20 "	175				30	4	1	19	1	3	108	9
20～22 "	143				16			18		4	95	10
22～24 "	94				8	1		11	2	1	64	7

応 急 処 置 別 件 数 表

事故別 応急処置別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
合 計	5,414 (5)	3,168	1,131	639 (5)	476
止 血	65 (1)	6	27	24 (1)	8
固 定	355	34	226	74	21
人工呼吸	4	3	1		
心臓マッサージ					
心肺蘇生	48	35	5	4	4
酸素吸入	509	366	42	39	62
気道確保	84	62	8	5	9
保 温	172	142	8	11	11
被 覆	181 (2)	9	101	53 (2)	18
在宅療法継続	17	16		1	
ショックパンツ	1	1			
除細動	3	3			
静脈路確保					
血圧測定	1,536 (1)	870	337	191 (1)	138
心音・呼吸音聴取	46	33	8	4	1
血中酸素測定	1,567	879	345	193	150
心電図	262	221	7	9	25
その他	564 (1)	488	16	31 (1)	29
応 急 処 置 対 象 人 員	1,632 (2)	923	353	199 (2)	157

()内は不搬送の場合の現場応急処置件数

道路別交通事故救急出動件数表

月別	道路別									
	合計	東名阪	伊勢線	名 阪 国 道	国 道 1 号	国 道 306 号	国 道 25 号	県 道	市 町 村 道	その他
合計	289	15		36	61	22	3	73	69	10
1月	15	2		4	2	1		4	1	1
2月	15	1		1	2	2		6	2	1
3月	22	2		3	4	2		7	4	
4月	26	2		5	4	2		5	6	2
5月	30	1		3	8	3		4	10	1
6月	30			6	2	1		12	7	2
7月	21	1		1	6	3	1	2	7	
8月	30	3		2	5		1	13	6	
9月	24	1		2	7	3		5	5	1
10月	34			3	10	1	1	7	10	2
11月	19			5	3	2		3	6	
12月	23	2		1	8	2		5	5	

覚 知 別 救 急 出 動 件 数 表

事故別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	1,619				289	31	7	204	9	16	957	106
専用電話 (加入電話)	1,052				60	20	2	141	4	11	734	80
専用電話 (携帯電話)	424				187	9	5	44	2	5	170	2
加入電話 (加入電話)	115				31	1		16	3		41	23
加入電話 (携帯電話)	11				5			2			4	
公団電話	3				3							
駆け付け その他	14				3	1		1			8	1

地区別救急出動件数表

地区別 \ 事故別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	1,619				289	31	7	204	9	16	957	106
亀山	600				78	4	2	86	5	4	324	97
井田川	245				42	3	1	26	2	5	164	2
神辺	126				42	5		9	1		68	1
昼生	44				14			7			23	
川崎	151				21	4	2	18		2	98	6
野登	59				6			7		1	45	
白川	59				9	5		10			35	
関	237				44	9	2	29	1	3	149	
坂下	56				17	1		7			31	
加太	40				14			5		1	20	
その他	2				2							

住所別救急搬送人員表

地区別 \ 事故別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	1,653				365	31	7	200	10	11	927	102
県内	亀山市	1,220			140	15	2	177	1	10	797	78
	市外	250			132	12	5	9	3	1	70	18
県外	180				92	4		13	6		59	6
その他	3				1			1			1	

年 令 別 搬 送 人 員 表

事故別 年令別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	1,653				365	31	7	200	10	11	927	102
新 生 児 (生後28日以下)	1											1
乳 幼 児 (生後29日～6才)	64				15			8			39	2
少 年 (7才～17才)	59				31		4	6			18	
成 人 (18才～64才)	748				262	26	3	62	10	9	337	39
老 人 (65才以上)	781				57	5		124		2	533	60

月別その他出動状況表

区分 月別	種 別				
	合 計	警 戒	誤 報	水 防	その他
合 計	50	28	14		8
1 月	8	1	6		1
2 月	3	2	1		
3 月	3	3			
4 月	6	3	2		1
5 月	5	3	1		1
6 月	2	2			
7 月	1	1			
8 月	7	3	2		2
9 月	3	3			
10 月	4	2	1		1
11 月	3	1			2
12 月	5	4	1		

救急医療情報案内件数表

月別案内件数

科目 月	合計	01 内 科	02 小 児 科	03 外 科	04 整 形 外 科	05 産 婦 人 科	06 眼 科	07 耳 鼻 咽 喉 科	08 皮 膚 科	09 泌 尿 器 科	10 精 神 神 經 科	11 脳 神 經 外 科	12 循 環 器 科	13 呼 吸 器 科	14 消 化 器 科	15 歯 科	特 診	そ の 他
合計	2,371	686	935	232	263	5	73	84	7	16	1	32	1			35		1
1月	289	98	123	12	16	2	10	14		5		6				3		
2月	169	57	81	5	9	1	4	9				1				2		
3月	139	39	61	14	14		1	4	1	1		2				2		
4月	187	34	90	22	23		6	4	1			5				2		
5月	283	89	105	29	32		7	15				1				5		
6月	162	43	62	16	24		6	6	2			1				2		
7月	183	49	65	27	25		8	3	2			1				3		
8月	220	50	81	35	21	1	8	10	1	4		5				4		
9月	175	42	73	26	19		6	3		3	1	1				1		
10月	188	51	73	13	35		7	6				2				1		
11月	170	62	61	14	19	1	5	1				5				2		
12月	206	72	60	19	26		5	9		3		2	1			8		1

曜日別案内件数

曜日	合計	日・祝	月	火	水	木	金	土
件数	2,371	1,157	151	149	152	349	132	281

時間別案内件数

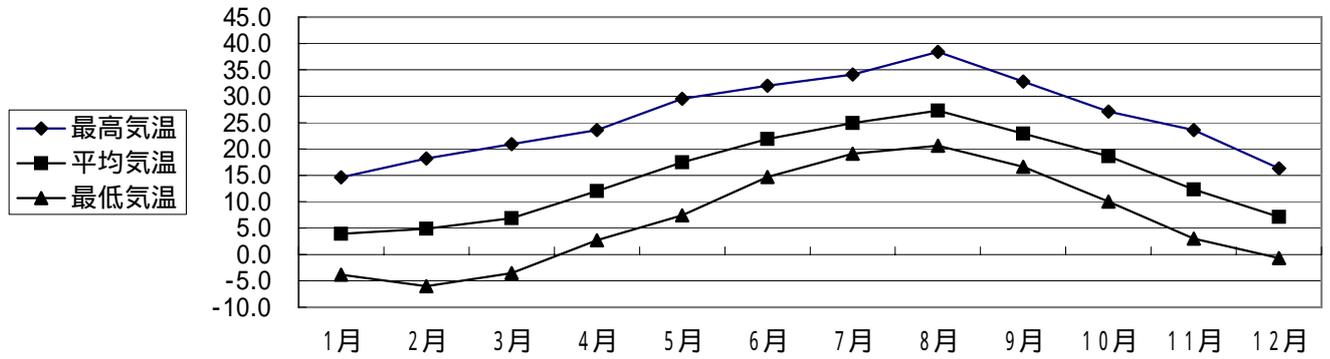
時間	件数
合計	2,371
0～1未満	35
1～2	26
2～3	25
3～4	23
4～5	15
5～6	12
6～7	14
7～8	59
8～9	158
9～10	183
10～11	121
11～12	97
12～13	101
13～14	107
14～15	88
15～16	127
16～17	119
17～18	148
18～19	175
19～20	230
20～21	208
21～22	131
22～23	99
23～24	70

地域別案内件数

地域名 科目名	合計	亀山	鈴鹿	四日市	津	その他
合計	2,371	954	1,100	173	138	6
01内科	686	423	257	5		1
02小児科	935	377	449	47	60	2
03外科	232	48	167	16		1
04整形外科	263	95	136	25	7	
05産婦人科	5		3	2		
06眼科	73	11	7	14	41	
07耳鼻咽喉科	84		28	36	18	2
08皮膚科	7		6		1	
09泌尿器科	16		5	8	3	
10精神神経科	1				1	
11脳神経外科	32		23	9		
12循環器科	1			1		
13呼吸器科						
14消化器科						
15歯科	35		19	9	7	
特診						
その他	1			1		

平成18年気象状況

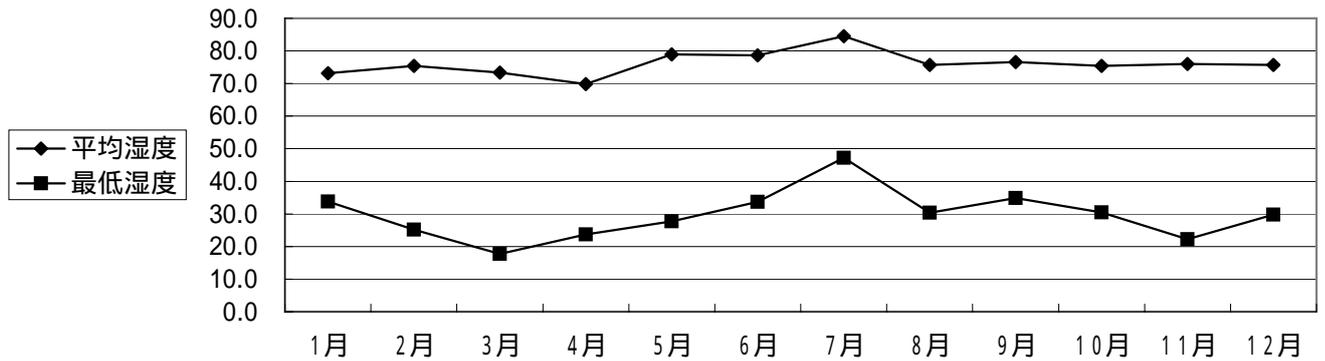
月別気温調()



気 温	1~12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	38.4	14.6	18.2	20.9	23.6	29.5	32.0	34.1	38.4	32.8	27.1	23.6	16.3
平均気温	15.0	3.9	4.9	6.9	12.0	17.5	21.9	24.9	27.3	22.9	18.6	12.3	7.1
最低気温	-6.0	-3.8	-6.0	-3.5	2.7	7.4	14.7	19.1	20.6	16.6	10.0	3.0	-0.7
夏日数	130	0	0	0	0	10	21	27	31	26	15	0	0
冬日数	37	15	13	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2

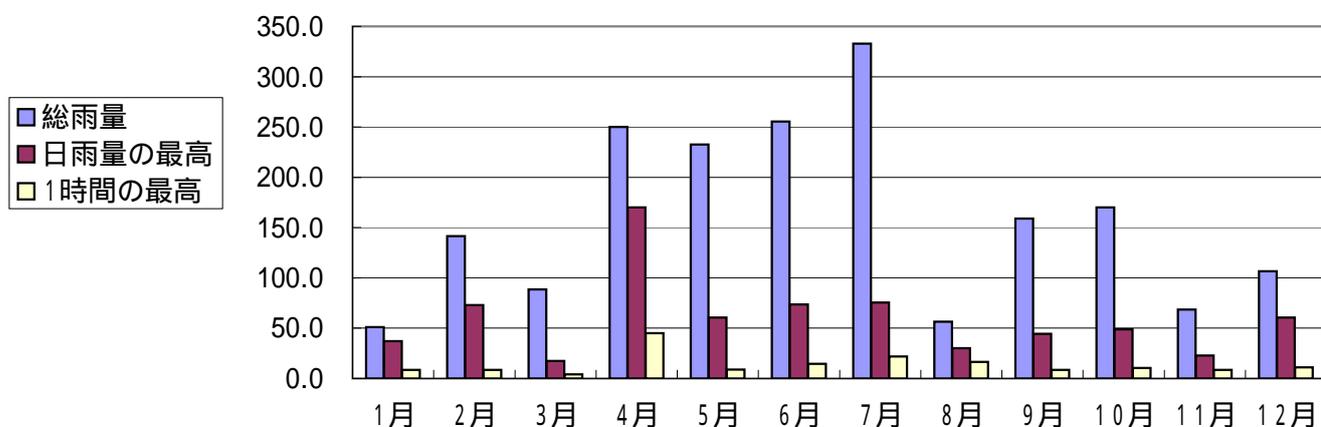
夏日...最高気温が25度以上の日 冬日...最低気温が0度未満の日

月別湿度調(%)



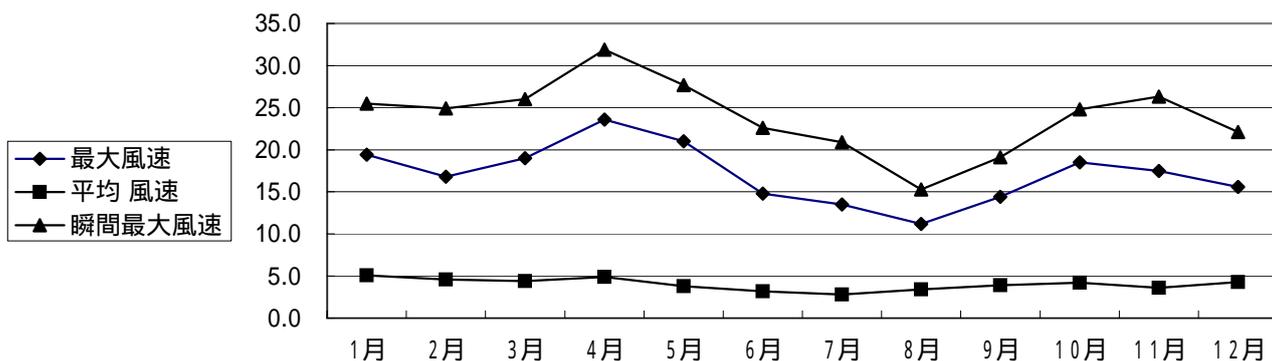
湿 度	1~12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均湿度	76.1	73.2	75.4	73.4	69.8	78.9	78.6	84.5	75.7	76.6	75.4	76.0	75.7
最低湿度	17.7	33.8	25.2	17.7	23.7	27.7	33.7	47.2	30.4	34.9	30.5	22.2	29.8

月別雨量調(mm)



雨量	1~12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総雨量	1,912.5	51.0	141.5	88.5	250.0	232.5	255.5	333.0	56.5	159.0	170.0	68.5	106.5
日雨量の最高	170.0	37.0	73.0	17.5	170.0	60.5	73.5	75.5	30.0	44.5	49.0	23.0	60.5
1時間の最高	45.0	8.5	8.5	4.0	45.0	9.0	14.5	22.0	16.5	8.5	10.5	8.5	11.0
10分間の最高	15.0	2.0	2.0	2.0	15.0	4.5	6.5	7.0	5.5	3.0	3.5	1.5	2.5
降雨日数	140	11	12	16	11	7	12	18	11	10	12	7	13

月別風速調(m/s)

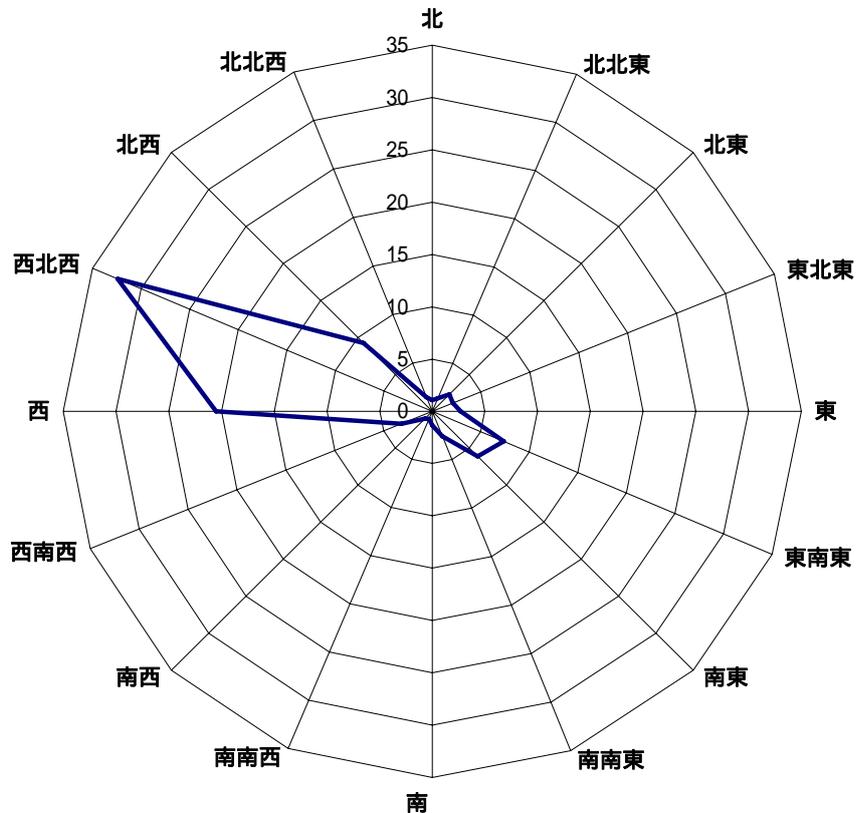


風速	1~12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最大風速	23.6	19.4	16.8	19.0	23.6	21.0	14.8	13.5	11.2	14.4	18.5	17.5	15.6
平均風速	4.0	5.1	4.6	4.4	4.9	3.8	3.2	2.8	3.4	3.9	4.2	3.6	4.3
瞬間最大風速	31.9	25.5	24.9	26.0	31.9	27.7	22.6	20.9	15.3	19.1	24.8	26.3	22.1

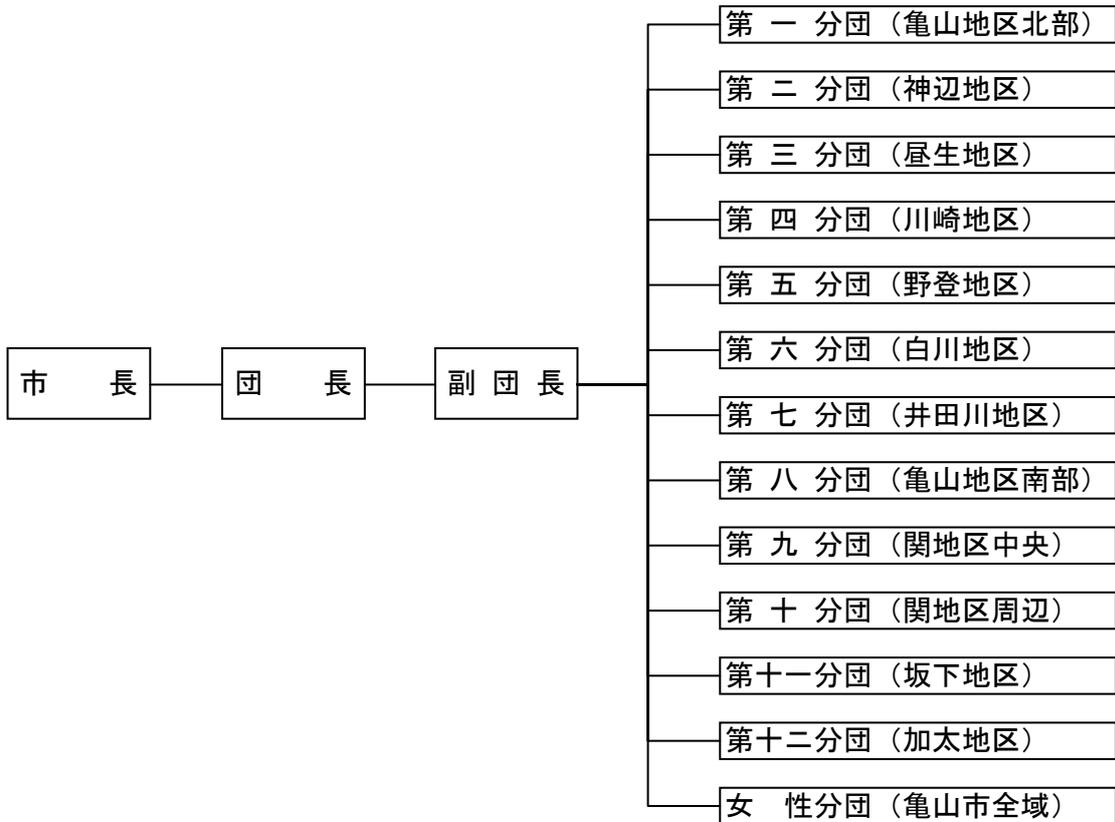
月別風向調(%)

風向	1~12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北	1.1	0.6	0.8	1.1	0.9	1.3	1.5	1.4	1.9	0.9	0.9	1.0	0.5
北北東	1.3	0.4	0.9	0.9	0.7	2.7	1.6	1.5	2.5	1.6	1.4	1.3	0.5
北東	2.3	0.5	0.9	1.4	2.5	5.7	2.4	2.6	3.6	3.2	1.8	2.2	0.7
東北東	2.1	0.9	1.2	1.7	3.2	4.8	2.0	2.9	2.1	2.3	1.4	2.2	0.6
東	2.7	1.0	1.1	1.7	3.5	6.8	3.9	4.0	3.9	2.6	1.2	1.8	0.6
東南東	7.4	1.6	3.0	3.7	5.9	15.2	13.7	8.6	19.4	9.4	3.5	3.1	1.1
南東	6.1	1.1	3.1	3.9	4.2	8.2	10.4	7.3	15.4	9.7	5.1	3.8	1.0
南南東	2.6	1.0	1.6	2.4	2.2	2.4	5.1	4.0	4.1	3.3	2.1	1.9	0.7
南	1.3	0.6	1.0	1.5	1.0	1.2	1.8	2.7	1.9	1.7	1.0	1.1	0.5
南南西	0.8	0.5	0.6	1.1	1.0	1.0	0.7	1.1	1.0	0.8	0.6	0.8	0.4
南西	1.0	0.6	0.9	1.1	1.2	1.1	1.0	1.5	0.8	0.8	0.9	1.4	0.8
西南西	3.2	1.6	3.1	4.3	2.8	1.9	2.9	4.8	1.6	2.1	2.2	6.0	4.7
西	20.5	18.1	22.1	19.2	14.9	12.1	14.8	17.9	11.3	28.0	26.0	27.0	34.6
西北西	32.4	48.2	38.4	31.6	35.0	24.9	26.9	24.4	19.6	27.1	38.6	32.1	42.0
北西	9.2	18.6	16.0	18.1	14.5	5.8	4.2	5.7	3.8	3.1	6.9	7.9	6.1
北北西	1.4	2.0	1.7	2.3	3.1	1.2	1.2	1.3	1.3	0.4	0.8	1.2	0.7
靜穩	4.6	2.7	3.6	4.0	3.4	3.7	5.9	8.3	5.8	3.0	5.6	5.2	4.5
最多	西北西	西北西	西北西	西北西	西北西	西北西	西北西	西北西	西北西	西	西北西	西北西	西北西

1月~12月風向(%)



消防団組織



名称	管轄区域
団本部	亀山市全域
第一分団	東町一丁目～二丁目、本町一丁目～四丁目、北町、北山町、東台町、洪倉町、江ヶ室一丁目～二丁目、中屋敷町、東丸町、本丸町、西丸町、市ヶ坂町、若山町、西町、南崎町、東御幸町、御幸町、野村町、野村一丁目～四丁目、北野町、南野町、椿世町、亀田町、羽若町、住山町、北鹿島町、南鹿島町、高塚町、上野町、小下町、アイリス町、栄町、みずきが丘
第二分団	布気町、太岡寺町、小野町、木下町、山下町
第三分団	三寺町、中庄町、下庄町、
第四分団	田村町、長明寺町、太森町、川崎町、能褒野町
第五分団	安坂山町、両尾町、辺法寺町
第六分団	白木町、小川町
第七分団	井尻町、和田町、川合町、井田川町、みどり町、みずほ台
第八分団	阿野田町、菅内町、天神一丁目～四丁目、和賀町、海本町、田茂町、安知本町、楠平尾町
第九分団	関町新所、関町中町、関町木崎の一部、関町泉ヶ丘、関町富士ハイツ、関町久我、関町越川、関町金場
第十分団	関町木崎の一部を除く木崎の区域、関町小野、関町会下、関町鷺山、関町白木一色、関町古厩、関町萩原、関町福德、関町関ヶ丘
第十一分団	関町坂下、関町沓掛、関町市瀬
第十二分団	加太市場、加太向井、加太梶ヶ坂、加太神武、加太板屋、加太中在家、加太北在家
女性分団	亀山市全域

消防団員配置表

(H19. 4. 1現在)

階級 分団	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
定 員	415	1	6	13	26	44	46	279
実 員	406	1	6	13	26	44	46	270
団 本 部	7	1	6					
第 一 分 団	30			1	2	4	3	20
第 二 分 団	33			1	2	4	5	21
第 三 分 団	33			1	2	4	3	23
第 四 分 団	40			1	2	4	5	28
第 五 分 団	40			1	2	4	6	27
第 六 分 団	35			1	2	4	4	24
第 七 分 団	23			1	2	2	2	16
第 八 分 団	24			1	2	2	2	17
第 九 分 団	36 (31)			1	2	4	4	25 (20)
第 十 分 団	38			1	2	4	4	27
第 十 一 分 団	24 (21)			1	2	3	3	15 (12)
第 十 二 分 団	30			1	2	3	3	21
女性分団	22(21)			1	2	2	2	15(14)

() は実員数

消防団員年令表

(H19. 4. 1現在)

階 級 年令	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	406 (21)	1	6	13 (1)	26 (2)	44 (2)	46 (2)	270 (14)
平均年令	41.0	71.0	59.5	53.3	51.6	47.9	43.7	37.2
18才								
19才								
20才								
21才	4							4
22才	1							1
23才								
24才	1							1
25才	4							4
26才	7 (2)							7 (2)
27才	5							5
28才	2							2
29才	9							9
30才	12 (1)							12 (1)
31才	7							7
32才	10							10
33才	11							11
34才	13							13
35才	20 (1)							20 (1)
36才	20					2	3	15
37才	25					1	3	21
38才	17						2	15
39才	18 (1)				1	1	3	13 (1)
40才	19 (1)						2 (1)	17
41才	18 (3)					3 (1)	1	14 (2)
42才	27 (2)				1	2	5	19 (2)
43才	16 (1)					1	4	11 (1)
44才	18 (2)				1	2	4	11 (2)
45才	10					4		6
46才	12 (1)			1	3	2	3	3 (1)
47才	11 (2)				1	3 (1)	5 (1)	2
48才	9			1		1	4	3
49才	11 (1)				1	3	2	5 (1)
50才	7			3	1	1	2	
51才	5			1	1	2		1
52才	10				2	4	2	2
53才	12 (3)			1 (1)	3 (2)	5	1	2
54才	9		1	1	4	3		
55才	3			1	1	1		
56才	7		1	1	2			3
57才	5			1	1	2		1
58才	2		1		1			
59才	4		1	1	1	1		
60才								
61才								
62才	1				1			
63才								
64才	1			1				
65才以上	3	1	2					

() 内は、女性消防団員を再掲

消防団員勤続年数表

(H19. 4. 1現在)

階級 年数	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	406 (21)	1	6	13 (1)	26 (2)	44 (2)	46 (2)	270 (14)
平 均	9.5	55.0	35.5	22.2	21.1	16.5	12.7	5.4
5年未満	166 (13)					2 (1)	5 (1)	159 (11)
5年以上 10年未満	80 (3)				3	10	11	56 (3)
10年以上 15年未満	61 (1)			3	3	9	12 (1)	34
15年以上 20年未満	44 (4)			2 (1)	5 (2)	7 (1)	11	19
20年以上 25年未満	20			3	4	6	6	1
25年以上 30年未満	20		2	3	6	7	1	1
30年以上 35年未満	9		2	1	4	2		
35年以上	6	1	2	1	1	1		

() 内は、女性消防団員を再掲

消防団機械器具一覧表

(H19. 4. 1現在)

区分 所属	種別	登録番号	車名 (ポンプ)	年式	排気量 (馬力)	ポンプ		配置
						製 作 社	種別	
団本部	小型動力ポンプ 付積載車	三重300 さ1650	トヨタ	H11	1990cc			本部
		R407RS	ラビット	H2	28PS	富士ロビン	B3	
	小型動力ポンプ	TF-03	シバウラ	S62	4PS	シバウラ	D1	
女性分団	小型動力ポンプ	TF-03	シバウラ	H3	5PS	シバウラ	D1	
第一分団	小型動力ポンプ 付積載車	三重800 さ3946	トヨタ	H13	1990cc			本町
		VC52AS	トーハツ	〃	46PS	トーハツ	B3	
	小型動力ポンプ 付積載車	三重800 さ5728	トヨタ	H13	1990cc			羽若
		P455S	ラビット	〃	45PS	富士ロビン	B3	
第二分団	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ7234	トヨタ	H7	1810cc			太岡寺
		V55AS	トーハツ	〃	28PS	トーハツ	B3	
	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ふ746	トヨタ	S63	1810cc			布気
		P408RS	ラビット	〃	43PS	富士ロビン	B3	
	小型動力ポンプ	SFF655M	シバウラ	H9	53PS	シバウラ	〃	小野
	山林火災用 軽四輪積載車	三重80 あ2125	ホンダ	H10	650cc			木下
		TF-35	シバウラ	S62	40PS	シバウラ	B3	
	小型動力ポンプ	V40BS	トーハツ	H9	32PS	トーハツ	〃	山下
第三分団	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ5395	トヨタ	H5	1810cc			中庄
		V55AS	トーハツ	〃	40PS	トーハツ	B3	
	山林火災用 軽四輪積載車	P455MS	ラビット	H10	45PS	ラビット	〃	下庄
		三重80 あ1061	三菱	H4	650cc			
		TF-03	シバウラ	S62	4PS	シバウラ	D1	
	山林火災用 軽四輪積載車	三重80 あ1584	ホンダ	H8	650cc			三寺
TE35		シバウラ	H4	40PS	シバウラ	B3		

区分 所属	種 別	登録番号	車 名 (ポンプ)	年式	排気量 (馬力)	ポ ン プ		配 置
						製 作 社	種別	
第 四 分 団	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ7235	トヨタ	H7	1810cc			南条
		V55AS	トーハツ	"	28PS	トーハツ	B3	
	小型動力ポンプ	SF655M-B	シバウラ	H8	40PS	シバウラ	"	太田
	小型動力ポンプ	SFF655M	"	H9	53PS	"	"	能褒野
	山林火災用 軽四輪積載車	三重80 あ1250	三菱	H6	650cc			田村
		P408M	ラビット	S60	43PS	富士ロビン	B3	
小型動力ポンプ	P408RS	"	H2	43PS	"	"	徳原	
第 五 分 団	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ4282	日産	H4	1620cc			平尾
		P408RS	ラビット	"	43PS	富士ロビン	B3	
	山林火災用 軽四輪積載車	三重80 あ 923	三菱	H3	650cc			池山
		P408RS	ラビット	H6	43PS	富士ロビン	B3	
	小型動力ポンプ	TF-03	シバウラ	S62	4PS	シバウラ	D1	
	小型動力ポンプ	P455S	ラビット	H11	45PS	富士ロビン	B3	安楽
	山林火災用 軽四輪積載車	三重80 あ1967	ホンダ	H9	650cc			辺法寺
		P408M	ラビット	S60	43PS	トーハツ	B3	
小型動力ポンプ	P408RS	ラビット	H2	43PS	富士ロビン	B3	原尾	
小型動力ポンプ	SFF655M	シバウラ	H9	53PS	シバウラ	"	坂本	

区分 所属	種別	登録番号	車名 (ポンプ)	年式	排気量 (馬力)	ポンプ		配置	
						製 作 社	種別		
第六分団	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ5394	トヨタ	H5	1810cc			白木	
		V55AS	トーハツ	〃	40PS	トーハツ	B3		
	山林火災用 軽四輪積載車	三重80 あ 792	三菱	H2	650cc			松山	
		TF-03	シバウラ	S62	4PS	シバウラ	D1		
		V46A(S)	トーハツ	H3	45PS	トーハツ	B3		
	山林火災用 軽四輪積載車	三重80 あ1810	ホンダ	H9	650cc			小川	
		V46BS	トーハツ	H9	32PS	トーハツ	B3		
	小型動力ポンプ	TF-35MES	〃	H1	40PS	〃	〃	上白木	
	第七分団	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ3260	トヨタ	H3	1810cc			川合
			TF-35	シバウラ	〃	40PS	シバウラ	B3	
小型動力ポンプ 付積載車		三重800 さ1643	トヨタ	H11	1990cc			みどり町	
		V46BS	トーハツ	〃	32PS	トーハツ	B3		
第八分団	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ4281	日産	H4	1620cc			天神	
		P408RS	ラビット	〃	38PS	富士ロビン	B3		
	小型動力ポンプ 付積載車	三重800 す2196	トヨタ	H18	1990cc			阿野田	
		SF651MZ	シバウラ	〃	46PS	シバウラ	B3		

区分 所属	種別	登録番号	車名 (ポンプ)	年式	排気量 (馬力)	ポンプ		配置
						製 作 社	種別	
第九分団	普通ポンプ車	三88 ふ8291	日産	S62		GMイチハラ	A2	木崎
	小型動力ポンプ 付積載車	鈴鹿800 さ 89	トヨタ	H19	2500			
			トーハツ	H16		トーハツ	B3	
	普通ポンプ車	三88 ふ1696	日産	S49		モリタ	A2	新所
小型動力ポンプ		シバウラ	H9	40PS	シバウラ	B3	越川	
第十分団	小型動力ポンプ 付積載車	三88 ほ4262	トヨタ	H4	1800cc			木崎鳥居
			シバウラ	H4		シバウラ	B3	
	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ5266	日産	H5	2000cc			会下
				H5		富士ロビン	B3	
	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ5271	日産	H5	1600cc			白木一色
				H5		富士ロビン	B3	
小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ2060	日産	H2	2000cc			萩原	
		トーハツ	H14		トーハツ	B2		
第十一分団	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ4263	トヨタ	H4	1800cc			坂下
			トーハツ	H16		トーハツ	B2	
	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ1566	日産	H元	1600cc			沓掛
			トーハツ	H13		トーハツ	B3	
	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ6408	トヨタ	H6	1800cc			市瀬
			シバウラ	H6		シバウラ	B3	
第十二分団	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ361	日産	S63	1600cc			板屋
			シバウラ	H11		シバウラ	B3	
	小型動力ポンプ 付積載車	三重88 ほ3190	トヨタ	H3	1800cc			市場
			トーハツ	H16		トーハツ	B3	